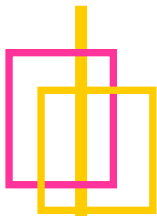


令和3年度
学びに向かう力推進事業
取組のまとめ

令和4年3月
滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課



目次

はじめに	2
研究指定校園の取組まとめ	
研究2年目	
野洲市立祇王幼稚園、祇王小学校	3
「自信をもって主体的に取り組める子どもの育成 ～ 伝え合う力を高める系統的な幼小接続 ～」	
資料	研究指定校園で作成した接続期カリキュラム 等
研究2年目	
東近江市立さくらんぼ幼稚園、五個荘小学校	9
「自分で考え行動する力を育む保育や授業の在り方 ～ 考えや思いを伝え合い、主体的に学ぶ子どもをめざして ～」	
資料	研究指定校園で作成した接続期カリキュラム 等
研究2年目	
豊郷町立豊郷幼稚園、豊郷小学校	18
『『主体的・対話的で深い学び』をめざす保育・授業の在り方 ～ 『生き生きと取り組む姿』と『言葉の豊かさ』の育成 ～』	
資料	研究指定校園で作成した接続期カリキュラム 等
研究1年目	
大津市立瀬田北幼稚園、瀬田北小学校	24
「自ら学び、未来を生き抜く瀬田北っ子の育成 ～ 地域と共に、幼小が一体となり子どもの育ちを支える ～」	
資料	研究指定校園で作成した接続期カリキュラム 等
研究1年目	
湖南市立平松こども園、三雲小学校	29
「自ら心を動かし主体的に行動する子どもの育成 ～ 自分の思いや考えを伝え合い学び合う子どもをめざして ～」	
資料	研究指定校園で作成した接続期カリキュラム 等



はじめに

県教育委員会では、幼児教育と小学校教育の滑らかな接続を目指して、「学びに向かう力推進事業」を実施しています。令和2年度からは、研究指定の小学校に加配教員を配置し、週15時間程度、幼稚園等で保育に参画したり、打合せや保育の準備に参加したりできるようにしました。研究指定校園では、幼児教育における子どもたちの学ぶ姿を具体的に理解し、共有すること等を通して、「学びに向かう力」の育成につながる指導内容や方法の工夫改善についての研究を推進していただきました。その中で、幼小の接続がより滑らかなものになるようなカリキュラムの作成や保育・授業の改善に取り組まれたことを踏まえ、ここに研究の成果と課題をまとめました。

改訂された小学校学習指導要領や幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針に示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」をもとに、幼稚園、幼保連携型認定こども園、保育所と小学校が5歳児修了時の姿を共有することで、より一層の接続が期待されています。このことを踏まえ、指定校園では、幼児期は遊びや生活の中で生きる力の基礎を培う時期であり、幼児期の学びと育ちは、小学校以降の教育の大切な根っこであることを共有しながら実践的な研究を進めてこられました。

どの研究においても基盤となっているのは、「子どもたちの学びをつなぎ、成長を促すためには、互いの保育・授業を知ることが大切である」という考えです。それぞれの保育や授業を参観し、互いの教育を知ることから始め、接続を見通した教育課程について何度も協議を重ねられました。また、幼小連携・接続をきっかけにして、互いの保育・授業のよさを学び合い、保育改善・授業改善を進めてこられました。

本事業の研究指定は2年間です。研究2年目(3地域)、研究1年目(2地域)の研究をまとめた取組を参考にしながら、それぞれの校園の実態に応じた幼児教育と小学校教育の連携や円滑な接続を一層努めていただきたいと思います。

最後になりましたが、本指定事業に熱心にお取り組みいただきました指定校園ならびに、指定校園の研究を支えていただきました市町の担当課の皆様、研究に協力いただいた教職員の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和4年3月 滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課
課長 村田 耕一

研究主題：自信をもって主体的に取り組める子どもの育成 ～伝え合う力を高める系統的な幼小接続～

1 主題設定の理由

本小学校区の子どもたちは、自分の思いを言葉で伝える力や表現する力が弱く、遊びや学習に自信をもって取り組みにくいことがある。そのため、遊びや学習において受け身であることが多く、主体的に取り組むことに課題が見られる。そこで、子どもたちが自信をもって、主体的に取り組めるような遊びや学習を考え、幼小接続を通して子どもたちの伝え合う力を高めていきたいと考えた。

研究2年目となる今年度は、昨年度作成した接続期カリキュラムを実施し、検証・改善するとともに、より子どもたちの学びのつながりを意識したり、伝え合う力を高めるための具体的な方法や場の設定等を考えたりして研究を進めることとした。

2 幼児教育と小学校教育をつなぐ取組や接続期カリキュラムに関する取組など

(1) 実施した研修会等

実施日	対象		内容等
4月6日	幼小	管理職、加配教員 教務主任(園) 5歳児担任 1年生担任	・加配教員の幼稚園での勤務に関する打合せ ・5月の公開研修会に向けての検討
5月21日	幼小	全教職員	・学びに向かう力推進事業研究発表大会開催 ・大学教授、県指導主事からの指導講話
6月11日	保 幼 小	加配教員、教務主任(園) 5歳児担任、1年生担任	・1年生の授業参観 ・保幼小連絡協議会 ・接続期カリキュラムの検討 (スタートカリキュラム)
6月30日	幼小	幼(全教職員) 小(分散参観)	・3歳児の保育参観と園内協議
7月16日	幼小	幼(全教職員) 小(分散参観)	・5歳児の保育参観と園内協議 ・県指導主事からの指導講話
7月30日	幼小	加配教員、教務主任(園) 5歳児担任、1年生担任	・接続期カリキュラムの検討 (アプローチカリキュラム)
10月27日	幼小	幼(全教職員) 小(分散参観)	・5歳児の保育参観と園内協議
11月5日	幼小	幼(全教職員) 小(分散参観)	・4歳児の保育参観と園内協議
11月11日	幼小	幼(全教職員) 小(分散参観)	・4歳児の保育参観と園内協議
11月17日	幼小	全教職員	・2年生の公開授業と合同研究協議会 ・大学教授、県指導主事からの指導講話
12月15日	幼小	幼(全教職員) 小(分散参観)	・3歳児の保育参観と園内協議
1月7日	幼小	加配教員、教務主任(園) 5歳児担任、1年生担任	・接続期カリキュラムの検討 (アプローチカリキュラム)
3月4日	幼小	全教職員	・2年間の成果報告と今後に向けて ・県指導主事からの指導講話
3月予定	幼小	加配教員、教務主任(園) 5歳児担任、1年生担任	・接続期カリキュラムの検討 (アプローチ・スタートカリキュラム)

(2) 加配教員の取組

◆保育への参画

5歳児クラスを中心に保育に参画をした。その中で、子どもたちが粘り強く取り組めた時に、保育者も一緒に喜ぶことやできたことを子どもたちに少しずつ自覚させ、自信につなげていくことが大切だと感じた。また、子どもたちの思考をくみ取るためにも保育者が子どもたちにたくさん問いかけることで子どもたちのイメージが少しずつ言語化され、遊びが広がっていくと感じた。

幼稚園では、遊びや生活の「振り返り」を大切にし、言葉の豊かさを育んだり、友だちとイメージを共有できるようにしたりしていた。また、一日の流れの中で子どもが見通しをもって当番活動をしたり、帰りの会で絵本の読み聞かせを聞いたり、歌を歌って楽しく一日を終えたりすることは、安心して過ごすことにも有効である。幼稚園の取組を小学校でも取り入れていきたい。

◆加配通信（つなぐ通信）の作成と配付

今年度の加配通信は、1年生の学校での過ごし方や学習の様子、園との交流の内容を詳しく伝えることに力を入れた。特に、年度初めのスタートカリキュラムの時期は、幼小が互いに忙しく参観する時間や意見交流をする時間が取りにくいいため、1年生の学校での生活や学習の様子を毎日通信にして伝えることにした。通信を通して、スタートカリキュラムの内容や実践の様子が伝わり、園の教員だけでなく、小学校の教員にとってもスタートカリキュラムがどのように行われているのかを共有することができた。



◆接続期カリキュラムの見直し 【別添資料①】

昨年度に作成した接続期カリキュラムをもとに、今年度の5歳児の実態に合わせて見直しを図った。5歳児の現在の遊びの姿からどんな姿を目指していきたいかを1年生担任と5歳児担任を中心に協議を重ねた。協議の際には、子どもたちが身に付けている力や目指したい姿を共有するために、子どもたちの様子がわかる写真を用いた。

3 実践事例

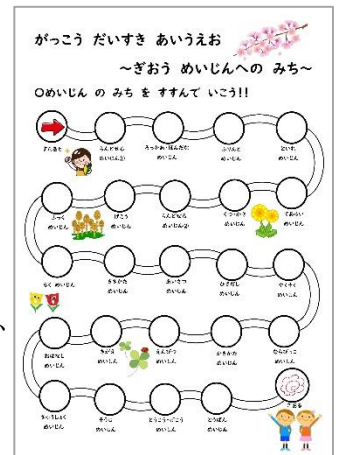
(1) スタートカリキュラムの実施（小学校） 【別添資料②】

①なかよしタイム

朝学習の時間や朝の会の時間、1時間目の始めの時間を「なかよしタイム」として設定した。「なかよしタイム」では、子どもたちが安心して学校生活を送れるようにすることを目的に、園でしていた手遊びや体操をしたり、読み聞かせをしたりして朝の時間をゆったりと取れるようにした。

②生活科「がっこうだいすきあいうえお」

学校生活について学ぶこの単元では、教員が一方向的に教えるのではなく、園や今までの経験を引き出し、子どもたちと一緒に考えながら学習を進めた。「ぎおう名人の道」と題して2週間かけて少しずつ学習を進め、できたら★マークを貼ってすごろくのように楽しみながら学習をした。



(2) アプローチカリキュラムの実施（幼稚園）

①遊び込んだ後の振り返りの時間

生活や遊びの中にある身近な物を通して、音や数、リズムに気づくなど五感を育む保育を大切にしながら遊び込むことができるような援助や環境構成に取り組んだ。そして、保育の中に「おはなしタイム」として振り返りの時間を設けた。子どもたちは遊び込むことで、自然と周りの人に伝えたいとなり、「おはなしタイム」ではたくさん話す姿が見られた。また、聞いている子どもたちにも質問やすてきなところなど、聞く視点を与えたことにより、双方向のやり取りが生まれた。振り返りの時間である「おはなしタイム」を遊びの見通しや意欲にもつながるように工夫することで「伝え合う」楽しさを感じられるよう取り組んできた。

②子どもたち同士の交流の時間の充実

アプローチカリキュラムでは、「子どもたちが期待感や安心感をもって小学校に向かえるようにする」ことを目的に、小学校との交流を充実させた。今年度は1年生との交流を増やすことで、子どもたちが「1年生になったらこんな勉強をするんだ。」という見通しをもつことができた。

1・5交流（1年生と5歳児の交流）

月 日	内容	
10月19日	一緒に秋を見つけよう。	校庭で一緒に秋見つけをする。
12月8日	秋まつりパーティーへようこそ	1年生の秋祭りに園児を招待して一緒に遊ぶ。
2月4日	1日体験入学	1年生の教室に入り、1年生体験をする。



5・5交流（5年生と5歳児の交流）

月 日	内容	
5月24日	第1回5・5交流	5年生と5歳児の顔合わせをして、遊ぶ。
6月14日	第2回5・5交流	5年生が計画した遊びで一緒に遊ぶ。
12月10日	第3回5・5交流	5年生が計画した遊びで一緒に遊ぶ。
2月21日	第4回5・5交流	5年生と一緒に学校探検をする。



(3) 3歳から2年生までのつながりを考える合同研究協議会

11月の2年生の公開授業の後に幼小合同の研究協議会を行った。その際、今年度の園内保育で見られた園児の様子を「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」に関連させてまとめた右図のシートを使って協議をした。3歳から1年生までの姿と公開授業で見られた2年生の姿とのつながりや成長を話し合った。

協議会後の振り返りでは、「伝え合う力を育てていくためには、まず自分が遊びに集中し、とことん遊び込むことが必要。そこから他者意識につながっていくと感じた。」「幼児期の遊びの積み重ねがしっかりと小学校へつながっているのだと感じた。」「昨年度からの取組により、幼児教育で育てておかなければならない力が少しずつ明確になった。子どもたちの力がどうつながっていくのかを実際に見て感じることができた。」などの感想があった。

合同研修会シート
協議の柱：2年生の学びの姿は、今までの学び（遊び）や経験が繋がっているか。

① 3歳児の「自分の好きな遊びを集中して遊ぶ姿」が、1年生の「自分の好きな遊びを集中して遊ぶ姿」につながっている。
② 3歳児の「友達と一緒に遊ぶ姿」が、1年生の「友達と一緒に遊ぶ姿」につながっている。
③ 3歳児の「先生の話を聞く姿」が、1年生の「先生の話を聞く姿」につながっている。
④ 3歳児の「自分の名前を呼ばれると返答する姿」が、1年生の「自分の名前を呼ばれると返答する姿」につながっている。
⑤ 3歳児の「自分の気持ちを言葉で伝える姿」が、1年生の「自分の気持ちを言葉で伝える姿」につながっている。
⑥ 3歳児の「自分の名前を呼ばれると返答する姿」が、2年生の「自分の名前を呼ばれると返答する姿」につながっている。
⑦ 3歳児の「自分の気持ちを言葉で伝える姿」が、2年生の「自分の気持ちを言葉で伝える姿」につながっている。
⑧ 3歳児の「自分の名前を呼ばれると返答する姿」が、2年生の「自分の名前を呼ばれると返答する姿」につながっている。
⑨ 3歳児の「自分の気持ちを言葉で伝える姿」が、2年生の「自分の気持ちを言葉で伝える姿」につながっている。
⑩ 3歳児の「自分の名前を呼ばれると返答する姿」が、2年生の「自分の名前を呼ばれると返答する姿」につながっている。

① 3歳児の「自分の好きな遊びを集中して遊ぶ姿」が、1年生の「自分の好きな遊びを集中して遊ぶ姿」につながっている。
② 3歳児の「友達と一緒に遊ぶ姿」が、1年生の「友達と一緒に遊ぶ姿」につながっている。
③ 3歳児の「先生の話を聞く姿」が、1年生の「先生の話を聞く姿」につながっている。
④ 3歳児の「自分の名前を呼ばれると返答する姿」が、1年生の「自分の名前を呼ばれると返答する姿」につながっている。
⑤ 3歳児の「自分の気持ちを言葉で伝える姿」が、1年生の「自分の気持ちを言葉で伝える姿」につながっている。
⑥ 3歳児の「自分の名前を呼ばれると返答する姿」が、2年生の「自分の名前を呼ばれると返答する姿」につながっている。
⑦ 3歳児の「自分の気持ちを言葉で伝える姿」が、2年生の「自分の気持ちを言葉で伝える姿」につながっている。
⑧ 3歳児の「自分の名前を呼ばれると返答する姿」が、2年生の「自分の名前を呼ばれると返答する姿」につながっている。
⑨ 3歳児の「自分の気持ちを言葉で伝える姿」が、2年生の「自分の気持ちを言葉で伝える姿」につながっている。
⑩ 3歳児の「自分の名前を呼ばれると返答する姿」が、2年生の「自分の名前を呼ばれると返答する姿」につながっている。

① 3歳児の「自分の好きな遊びを集中して遊ぶ姿」が、1年生の「自分の好きな遊びを集中して遊ぶ姿」につながっている。
② 3歳児の「友達と一緒に遊ぶ姿」が、1年生の「友達と一緒に遊ぶ姿」につながっている。
③ 3歳児の「先生の話を聞く姿」が、1年生の「先生の話を聞く姿」につながっている。
④ 3歳児の「自分の名前を呼ばれると返答する姿」が、1年生の「自分の名前を呼ばれると返答する姿」につながっている。
⑤ 3歳児の「自分の気持ちを言葉で伝える姿」が、1年生の「自分の気持ちを言葉で伝える姿」につながっている。
⑥ 3歳児の「自分の名前を呼ばれると返答する姿」が、2年生の「自分の名前を呼ばれると返答する姿」につながっている。
⑦ 3歳児の「自分の気持ちを言葉で伝える姿」が、2年生の「自分の気持ちを言葉で伝える姿」につながっている。
⑧ 3歳児の「自分の名前を呼ばれると返答する姿」が、2年生の「自分の名前を呼ばれると返答する姿」につながっている。
⑨ 3歳児の「自分の気持ちを言葉で伝える姿」が、2年生の「自分の気持ちを言葉で伝える姿」につながっている。
⑩ 3歳児の「自分の名前を呼ばれると返答する姿」が、2年生の「自分の名前を呼ばれると返答する姿」につながっている。

4 研究の成果と課題

◆成果

幼稚園と小学校の互いの保育・授業の参観や話し合う場を多く設けることで、それぞれの教育で大切にしている点や目指したい子どもの姿を共有することができた。幼児期の子どもたちの遊びの中にもどのような学びがあるのか、それを小学校教育で生かすためにどうすればよいかということを保育・授業参観や合同研修会などを通して全職員が理解できた。

◆課題

スタートカリキュラムにおいては、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を生かして、教科等横断的な指導を意識したり、幼児教育の遊びの要素を多く取り入れたりして進めてきた。幼児教育では「必要感」をもって遊び込むことで子どもたちが主体的に活動しているので、小学校の学習でも「必要感」がもてるような工夫を今後も継続して実践していきたい。

5 今後に向けて

今後も本研究の成果を生かして、幼小連携・接続を続けていけるように、幼稚園と小学校が連絡を密に取り、目指す子どもの姿を共有しながら互いの保育や授業を参観したり、その様子を通信などで共有したりしていきたい。また、接続期カリキュラムについては、子どもの実態が毎年変わるため、年に4回程度子どもたちの姿から考える接続期カリキュラムの検討を今後も継続していきたいと考えている。

祇王幼稚園・祇王小学校の接続期カリキュラム

時期		幼稚園4期（11月～12月）	幼稚園5期（1月～3月）	小学校1期（4月～5月）			
テーマ		友だちと話し合って進めよう。	友だちと協力し合って遊びを進めよう	小学校生活に慣れて、友だちと楽しく過ごそう。			
ねらい		○友だちと一緒に共通の目標に向かって、遊びや活動を進める楽しさを味わう。 ○自分の思いを伝えたり、相手の思いを受け止めたりして折り合いをつけながら遊びを進める。 ○季節の移り変わりに気付いたり、遊びの中に取り入れたりして身近な自然に親しむ。	○友だちと一緒に思いや考えを出し合いながら力を合わせて遊びを進め、最後までやり遂げようとする気持ちをもつ。 ○生活や遊びにめあてや見通しをもち、自分の力を十分に発揮し、充実感を味わい、就学への期待をもつ。	○新しい先生や友だちと関わる中で入学した喜びを感じ、意欲的に学校生活を送ろうとする。 ○めあてをもって学習に取り組めるようになる。 ○自分の思いを伝えたり、友だちと関わったりしながら学習を進める。 ○幼稚園での経験を生かしながら小学校の生活リズムに慣れていく。			
内容（幼児期の終わりまでに育ってほしい姿「10の姿」と関連させて）	健康な心と体 (運動的スキル)	・それぞれの個人の目標に合わせて、いろいろな運動遊びや技にチャレンジしようとする。(鉄棒、うんてい、なわとび、ボール、一輪車) ・ドッジボールなどのボール遊びを通して、足を踏み出して投げたり、ボールをキャッチしたりする。 ・リズムや歌に合わせて縄に入って跳ぶ。(長縄跳び) ・シャツをズボンに入れたり、防寒具、手袋等の始末などを自分でしたりする。	・こまのひもの巻き方や力加減を何度も試しながらこま遊びに親しむ。(こま遊び) ・チャレンジカード(ボール遊び・なわとび・うんてい・鉄棒)を目標にして粘り強く挑戦する。 ・座ったときの姿勢(体育座り)やイスに座ったときの姿勢を意識しようとする。(朝の会、帰りの会、卒園に向けて)	・体育科を中心に様々な動きや遊具に親しみ、楽しく運動する。(遊具あそび、おににあそび、ならびっこあそび) ・安全に気をつけて遊んだり、学校生活を過ごしたりする。			
	協同性	・鬼ごっこやドッジボール、リレーなどの戸外遊びのルールを考えたり、話し合ったりしながら遊びを進める。(戸外遊び)	・おもちゃを使った版遊びや紙版画、スチレン版画で版遊びをして、写る楽しさを味わう。(スタンプ、版遊び)	・あいさつを自分からしようとする。			
	道徳性・規範意識の芽生え	・楽器遊びや合奏などを通してみんなで音をそろえる良さや楽しさを感じる。(音楽会や楽器遊び)	・たこづくりなどで友だちにおさえてもらってテープを貼るなど友だちと協力しながら遊びを進める。(たこあげ)	・場や相手に応じた言葉づかいで話せるようになる。			
	社会生活との関わり	・色々な楽器に親しむ中で、興味をもち、自分で楽器を選んで友だちと音を奏でる楽しさを味わう。(音楽会や楽器遊び)	・絵本やお話、音楽に親しみ、感じたことを言葉や身体で表現したりしながら遊びを進める。(お話遊び)	・友だちと相談したり、分担したりして活動する。			
	自然との関わり・生命尊重	・制作遊びを進めていく中で、お店屋さんやごっこ遊びに発展し、お店屋さんで役割分担をしたり、看板やお店に飾りをつけたりしながら進める。(制作遊び・お店屋さんごっこ)	・絵本やお話、音楽に親しみ、感じたことを言葉や身体で表現したりしながら遊びを進める。(お話遊び)	・植物や生き物に愛情や親しみをもって育てようとする。(アサガオを育てる)			
	豊かな感性と表現	・大そうじをすることで、気持ちがよくなることや自分たちでそうじをしようとする気持ちをもつ。(年末行事、大そうじ)	・異なる年齢の友だちと遊ぶ中で優しく声かけをしたり、遊び方を教えたりする。	・学級の仕事や係活動に進んで取り組もうとする。(朝の会・帰りの会の司会、授業のあいさつ、給食のあいさつ、健康観察を取りに行くなど)			
自立心	・身近なところに出かけて、自然のものを見つけたり、自然のものに興味をもって制作遊びに使ったり、遊びに取り入れれたりする。(制作遊び)	・花の世話を生かしていきの様子を楽しみにする。(水栽培：ヒヤシンス、一人一鉢栽培：パンジー、ピオラ)	・学級活動などの話合いで、友だちと協力して考え、取り組もうとする。				
思考力の芽生え	・自分たちで出した物を自分たちで片付ける。(制作遊び)	・プリントの配り方が分かるようになる。(自分の分をとって、次の人に渡す)	・学校のきまり(祇王小学校のやくそく)や学級での約束を守ろうとする。				
数や図形、標識や文字などへの関心・感覚	・なわとびや大縄跳びの入れるタイミングを伝えたり、一緒にやったりする。(戸外遊び)	・朝の会や帰りの会で予定(視覚的支援あり)を確認し、見通しを持って過ごす。	・友だちに温かい言葉(ふわふわ言葉)で話したり、優しく関わったりする。				
言葉による伝え合い	・遊びの振り返りとその時の気持ちや感想を伝えたり、友だちの色々な意見を聞いたりして、次の遊びに生かす。(音楽会、制作遊びなど)	・文字や絵をかいいたり、スタンプをしたりして手紙遊びをする。(郵便ごっこ)	・読み聞かせに親しんだり、幼稚園からなじみのある歌を歌ったりしながら楽しむ。				
学べる力	・身近な素材を使って、ものの付け方や付ける位置などを考えて制作する。(制作遊び)	・ひらがな表を見ながら文字を書いたり、読もうとしたりする。(郵便ごっこ)	・6年生や他の学年の友だちとも遊んだり、関わったりすることをしようとする。(ふれあい遊びや休み時間)				
豊かな感性と表現	・作りたい物をイメージ(生き物や食べ物)してそれに近い素材を選んで制作する。	・お話遊びなどで言葉のやりとりを楽しんだり、役になりきって遊んだりする。					
言葉による伝え合い	・はさみで思うように切ったり、適切な長さでセロハンテープを切ったりする。	・自分なりに試行錯誤しながら制作遊びを楽しむ。(たこあげ)					
	・絵本の読み聞かせをヒントに自分たちの遊びに取り入れれたり、表現の言葉を使ったりする。	・遊びの中で数を数えたり、数とものを対応させたりしながら遊ぶ。(カードゲーム、すごろく、オセロ)					
	・お店屋さんなどの看板や品物に文字を書く。(お店屋さんごっこ)	・遊び方を伝え合ったり、友だちとやりとりしたりしながらルールを決めて、自分たちで遊びを進めていく。(カードゲーム、お正月遊び)					
	・お客さんの数や品物の数を数える。(お店屋さんごっこ)						
予想される活動(遊び)	<ul style="list-style-type: none"> 戸外遊び <ul style="list-style-type: none"> 鬼ごっこ なわとび ぼっくり ドッジボール 鉄棒・うんてい チャレンジカード たこあげ リレー 一輪車 楽器遊びをする <ul style="list-style-type: none"> カスタネット、タンリン、スズ、木琴、ウッドブロック、大太鼓、小太鼓、ツリーチャイム、トライアングル 制作遊びをする <ul style="list-style-type: none"> 身近な材料を使って作る(箱、カップ、ビーズ、ボタン、綿) 木の実などの自然物を使って作る(リース、ツリー、飾り) 粘土を使って作る 音楽会 <ul style="list-style-type: none"> 合奏をする 歌をうたう お楽しみ会 <ul style="list-style-type: none"> 劇を見る マジックを見る 歌をうたう リズム遊びをする ゲームをする 室内遊び <ul style="list-style-type: none"> けん玉 郵便ごっこ さつまいものつる遊び <ul style="list-style-type: none"> リースづくり なわとび つなひき ブランコ みんなで一緒にごっこ遊び <ul style="list-style-type: none"> お店屋さんごっこ かいもの 年末行事 <ul style="list-style-type: none"> 大掃除をする 	<ul style="list-style-type: none"> 戸外遊び <ul style="list-style-type: none"> 鬼ごっこ なわとび、長縄 リレー ドッジボール チャレンジカード たこあげ サッカー 一輪車 自然物を育てよう <ul style="list-style-type: none"> 一人一鉢 水栽培 冬野菜 年中・年少と一緒に遊ぶ <ul style="list-style-type: none"> リレー 鬼ごっこ ドッジボール リズム遊び 卒園に向けての取り組み <ul style="list-style-type: none"> 卒園記念制作 歌、呼びかけ アルバムの表紙づくり 修了証書授与式 室内遊び <ul style="list-style-type: none"> お正月遊び(こま、かるた、お手玉、すごろく、あやとり、けん玉等) カードゲーム オセロ 編み物(マフラー編み、花、リボン) スタンプ(版遊び) 切り紙 郵便ごっこ 表現あそび <ul style="list-style-type: none"> お話ごっこ 	<p>それぞれの教科の学習</p>				
歌(朝の会の歌なども)	・ジングルベル ・お正月 ・やまのおんがくか ・もりのくまさん ・あわてんぼうのサンタクロース ・コンコンシャンのうた ・音楽会の歌(ぼくらのスマイル、ミッキーマウスマーチ、大切なたからもの、小さな世界)	・カレンダーマーチ ・ゆげのあさ ・たこのうた ・おにのパンツ ・卒園に向けて					
体操・手遊び	・焼きいもグーティーパー ・りすさんのケーキ ・ピカチュウ ・昆虫太極拳 ・どんぐり体操 ・きのこズンズン ・ゆびにんぼう ・こすれこすれ ・手と手と手と	・コンコンシャンのうた ・アルプス一万尺 ・おでんぐつぐつ体操 ・ポキポキポキッピン ・ちょっとだけ体操 ・こすれこすれ ・手と手と手と					
絵本	・ねずみくんのおんがくかい ・どんぐりむらのどんぐりえん ・サンタさんのおくりもの ・100円たんけん ・さんじょう！てらいかめん ・森のお店やさんシリーズ ・ふゆやさいのふゆやすみ	・ともだちや ・十二支のはじまり ・昔話シリーズ(おむすびころりんなど) ・泣いた赤鬼 ・くすのきだんち ・だいこんどのむかし ・ずっとともだち					
行事	11月…誕生会、おいものレストラン、市美術展、保育参観、キッズサッカー、作品展、保幼交流、 12月…個別懇談会、キッズサッカー、避難訓練、誕生会、音楽会、お楽しみ会、もちつき 保幼交流、1・5交流、5・5交流、2学期終業式	1月…3学期始業式、アルバム個人写真、身体測定、老人クラブ交流会、 誕生会、避難訓練、おでんパーティー、キッズサッカー(プレゼント) 2月…誕生会、保育参観、通園指導、お楽しみ会、小学校一日体験入学、5・5交流 3月…誕生会、お別れ会、修了証書授与式					
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>4月</th> <th>5月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 行事 <ul style="list-style-type: none"> 入学式 交通安全教室 児童会 <ul style="list-style-type: none"> 地区別児童会 生活 <ul style="list-style-type: none"> がっこうだいすき あいうえお 生活 <ul style="list-style-type: none"> げんきにそだてわたしのはな 生活 <ul style="list-style-type: none"> いくぞ！がっこうたんけんたい！ 国語 <ul style="list-style-type: none"> いいてんき おはなしたのしいな あつまってはなそう えんぴつとなかよし どうぞよろしく うたにあわせてあいうえお こえにだしてよう 算数 <ul style="list-style-type: none"> なかよし 10までの数 国語 <ul style="list-style-type: none"> なんていおうかな こんなの見つけたよ ききたいな、ともだちのはなし たのしいな、ことばあそび はなのみち としよかんへいこう かきとかき ぶんをつくらう ねことねこ 算数 <ul style="list-style-type: none"> なんぼんめ いくつといくつ 図画工作 <ul style="list-style-type: none"> ちよきちよきかざり すなやつちとなかよし 音楽 <ul style="list-style-type: none"> うたっておどって なかよくなるう </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 道徳 <ul style="list-style-type: none"> たのしいがっこう うまれたてのいのち ありがとう 音楽 <ul style="list-style-type: none"> はくをかかんじとろう 児童会 <ul style="list-style-type: none"> 1年生を迎える会 生活 <ul style="list-style-type: none"> げんきにそだてわたしのはな 生活 <ul style="list-style-type: none"> いくぞ！がっこうたんけんたい！ 国語 <ul style="list-style-type: none"> なんていおうかな こんなの見つけたよ ききたいな、ともだちのはなし たのしいな、ことばあそび はなのみち としよかんへいこう かきとかき ぶんをつくらう ねことねこ 算数 <ul style="list-style-type: none"> なんぼんめ いくつといくつ 図画工作 <ul style="list-style-type: none"> ちよきちよきかざり すなやつちとなかよし 音楽 <ul style="list-style-type: none"> うたっておどって なかよくなるう </td> </tr> </tbody> </table> <p>生活科を中心に他の教科と合科的・関連的に指導を進めていく。</p>	4月	5月	<ul style="list-style-type: none"> 行事 <ul style="list-style-type: none"> 入学式 交通安全教室 児童会 <ul style="list-style-type: none"> 地区別児童会 生活 <ul style="list-style-type: none"> がっこうだいすき あいうえお 生活 <ul style="list-style-type: none"> げんきにそだてわたしのはな 生活 <ul style="list-style-type: none"> いくぞ！がっこうたんけんたい！ 国語 <ul style="list-style-type: none"> いいてんき おはなしたのしいな あつまってはなそう えんぴつとなかよし どうぞよろしく うたにあわせてあいうえお こえにだしてよう 算数 <ul style="list-style-type: none"> なかよし 10までの数 国語 <ul style="list-style-type: none"> なんていおうかな こんなの見つけたよ ききたいな、ともだちのはなし たのしいな、ことばあそび はなのみち としよかんへいこう かきとかき ぶんをつくらう ねことねこ 算数 <ul style="list-style-type: none"> なんぼんめ いくつといくつ 図画工作 <ul style="list-style-type: none"> ちよきちよきかざり すなやつちとなかよし 音楽 <ul style="list-style-type: none"> うたっておどって なかよくなるう 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳 <ul style="list-style-type: none"> たのしいがっこう うまれたてのいのち ありがとう 音楽 <ul style="list-style-type: none"> はくをかかんじとろう 児童会 <ul style="list-style-type: none"> 1年生を迎える会 生活 <ul style="list-style-type: none"> げんきにそだてわたしのはな 生活 <ul style="list-style-type: none"> いくぞ！がっこうたんけんたい！ 国語 <ul style="list-style-type: none"> なんていおうかな こんなの見つけたよ ききたいな、ともだちのはなし たのしいな、ことばあそび はなのみち としよかんへいこう かきとかき ぶんをつくらう ねことねこ 算数 <ul style="list-style-type: none"> なんぼんめ いくつといくつ 図画工作 <ul style="list-style-type: none"> ちよきちよきかざり すなやつちとなかよし 音楽 <ul style="list-style-type: none"> うたっておどって なかよくなるう
4月	5月						
<ul style="list-style-type: none"> 行事 <ul style="list-style-type: none"> 入学式 交通安全教室 児童会 <ul style="list-style-type: none"> 地区別児童会 生活 <ul style="list-style-type: none"> がっこうだいすき あいうえお 生活 <ul style="list-style-type: none"> げんきにそだてわたしのはな 生活 <ul style="list-style-type: none"> いくぞ！がっこうたんけんたい！ 国語 <ul style="list-style-type: none"> いいてんき おはなしたのしいな あつまってはなそう えんぴつとなかよし どうぞよろしく うたにあわせてあいうえお こえにだしてよう 算数 <ul style="list-style-type: none"> なかよし 10までの数 国語 <ul style="list-style-type: none"> なんていおうかな こんなの見つけたよ ききたいな、ともだちのはなし たのしいな、ことばあそび はなのみち としよかんへいこう かきとかき ぶんをつくらう ねことねこ 算数 <ul style="list-style-type: none"> なんぼんめ いくつといくつ 図画工作 <ul style="list-style-type: none"> ちよきちよきかざり すなやつちとなかよし 音楽 <ul style="list-style-type: none"> うたっておどって なかよくなるう 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳 <ul style="list-style-type: none"> たのしいがっこう うまれたてのいのち ありがとう 音楽 <ul style="list-style-type: none"> はくをかかんじとろう 児童会 <ul style="list-style-type: none"> 1年生を迎える会 生活 <ul style="list-style-type: none"> げんきにそだてわたしのはな 生活 <ul style="list-style-type: none"> いくぞ！がっこうたんけんたい！ 国語 <ul style="list-style-type: none"> なんていおうかな こんなの見つけたよ ききたいな、ともだちのはなし たのしいな、ことばあそび はなのみち としよかんへいこう かきとかき ぶんをつくらう ねことねこ 算数 <ul style="list-style-type: none"> なんぼんめ いくつといくつ 図画工作 <ul style="list-style-type: none"> ちよきちよきかざり すなやつちとなかよし 音楽 <ul style="list-style-type: none"> うたっておどって なかよくなるう 						
			<p>4月…入学式、交通安全教室、地区別児童会、避難訓練、学習参観、各健康診断 5月…家庭訪問、体力テスト、1年生を迎える会、学習参観</p>				

令和3年度 祇王小学校スタートカリキュラム 週案 (第1週)

週間の目標	○小学校の生活環境になじみ、安心して楽しく生活する。 ○朝の準備の仕方を知り、自分で取り組もうとする。 ○安全に気を付けて、登下校する。					な…なかよしタイム め…めいじんタイム わ…わくわくタイム ぐ…ぐんぐんタイム
実施日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	
月日	4月12日	4月13日	4月14日	4月15日	4月16日	
曜日	月	火	水	木	金	
行事	地区児童会②			避難訓練②		
朝学習	【ランドセル名人】 ランドセルの片付け方や朝の用意の仕方を覚える。	【なかよしタイム】 慣れ親しんだ手遊びや歌・読み聞かせ・体操・クイズなど		【着がえ名人】 体操服の着がえ方や片付け方を覚える。		
1	学活 【ロッカー・本だな名人】 ロッカーや本だなの使い方を考える。	生活 【引き出し名人】 引き出しの使い方を考える。	生活 これまでの名人の確認をする。	国語 【なかよしタイム】 慣れ親しんだ手遊びや歌・読み聞かせ・体操・クイズなど	国語(書写) これまでの名人を確認する。	
	生活 【プリント名人】 プリントの配り方や片付け方を考える。	学活 【フック名人】 フックの場所を覚え、使い方を考える。	国語 【聞き方名人】 いすの座り方・話の聞き方・返事の仕方を考える。	国語 【えんぴつ名人】 えんぴつの持ち方を正しく覚える。	国語 【はじめての名前】 姿勢やえん筆の持ち方に気をつけて自分の名前を書く。	
	生活 【くつ・かさ名人】 傘立て・靴箱の場所を覚え、使い方を考える。	学活 【地区別児童会】 地区別児童会の場所を確認する。	学活 【やくそく名人】 祇王小学校の約束を知り、約束について考える。	国語 【書き方名人】 良い姿勢を覚えて、線を書く。	体育 【ならびっこ名人】 名簿の順番を覚えて、すばやく並べるようにする。	
2	生活 【なかよしタイム】 慣れ親しんだ手遊びや歌・読み聞かせ・体操・クイズなど	児童会	学活 【なかよしタイム】 慣れ親しんだ手遊びや歌・読み聞かせ・体操・クイズなど	体育 【施設・用具の使い方①】 遊具の使い方を知る。簡単なルールや順番を守りながら、遊具遊びをする。 【わくわくタイム】	行事 避難訓練に参加する。	
	学活 【トイレ名人】 トイレやスリッパの使い方を考える。	児童	学活 個人写真を撮る。待っている間は、本を読んだり、自由帳をしたりする。	体育 【かきたいものなあに①】 八つ切り画用紙に自分の好きな絵を描く。	行事	
	生活 【手洗い名人】 手洗い場の使い方を考える。	児童	学活	道徳	行事	
3	学活 【ランドセル名人】 掃りの用意の仕方を考える。	生活 【あいさつ名人】 良いあいさつの仕方を考える。	国語 【えんぴつ名人】 えんぴつの持ち方を正しく覚える。	図工 【かきたいものなあに①】 八つ切り画用紙に自分の好きな絵を描く。	算数 【数遊び】 さんすうボックスに入っているおはじきやブロックを使って、数遊びをする。	
	学活 【げこう名人】 学年下校の場所・並び方を覚え、安全な下校について考える。	生活 【ランドセル名人】 掃りの用意をする。	国語 【書き方名人】 良い姿勢を覚えて、線を書く。	図工	算数	
	学活	学活 【げこう名人】 学年下校の場所・並び方を覚え、安全な下校について考える。	生活 【ランドセル名人】 掃りの用意をする。	生活 【ランドセル名人】 掃りの用意をする。	生活 【ランドセル名人】 掃りの用意をする。	
4						
5						

たくましい心と体づくり (丈夫な子)	<ul style="list-style-type: none"> 学校の生活リズムに慣れる。 トイレや手洗い場の使い方、安全な遊具の使い方を考える。 朝の準備や帰りの準備の仕方を考える。 安全に気を付けて登下校する。 イスに座って良い姿勢を意識するようになる。
心豊かな仲間づくり (やさしい子)	<ul style="list-style-type: none"> 1年生になったことを喜び、友だちや教師と親しみをもつ。 支援員など、担任以外の教師とも親しみをもつ。 登校や休み時間など6年生と中心に、他の学年の児童と話す。
確かな学びづくり (考える子)	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活の一日の流れがわかる。(視覚支援を行う) 教室の近くの物の位置などを覚え、使い方を考える。(教室・靴箱・傘立て等) 持ち物の整理の仕方を考え、えんぴつの持ち方を覚える。

〈なかよしタイム〉安心をつくる時間

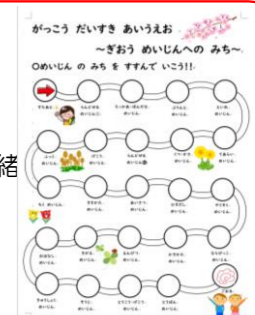
- ☆朝学習や1時間目の始めを「なかよしタイム」とし、安心して1日のスタートができるようにする。
- ☆安心感を増やしたり、先生や友だちと仲良くなったりするきっかけづくりをする。
- ・幼稚園、保育園で慣れ親しんだ手遊びや歌 ・読み聞かせ
- ・体操 ・クイズ など

〈めいじんタイム〉自分でできることを増やす時間

- ☆ランドセルの片付け方や引き出しの使い方など、小学校の生活で身に着けることを「めいじんタイム」として設定し、「わかった!できた!」を増やしていく。できたことを、掲示したり、シールを貼ったりするなどして目に見える評価をする。また、学習した次の日にできていたことはしっかりと褒め、できた!を積み重ね、意欲を高める。
- ☆学級担任だけでなく、フリーの先生や支援員さんにも入ってもらい、学校にはいろいろな先生がいることへの気づきや、頼れる先生がいることを知るきっかけづくりをする。

〈わくわくタイム〉生活科を中心に合科的・関連的な学びをする時間

- ☆生活科「がっこうだいすき あいうえお」では、「ぎょうめいじんへの道」と題して学校生活のことを学び、考える。すぐろくのような掲示物を使い、できたことや行ったことを視覚的に見える化する。小学校のルールを教えこむのではなく、子どもたちと一緒に考えながら決めていく。
- 国語科の「えんぴつとなかよし」「どうぞよろしく」や体育科「ならびっこ遊び」、特別活動など色々な教科と合科的・関連的に進めていく。



◎実践上の留意点

- 一日のはじめに楽しく一日がスタートできるようにする。また、帰りには明日への期待感をもてるようにする。
- 視覚支援により、一日の流れが分かるようにしておく。文字だけではなく、イラストなども活用する。
- 子どもの発達に合わせて、10分~15分の短い時間で活動したり、具体的な活動を伴う学習をしたりする。

ぎょうっこタイム(20分間)

水曜日	
金曜日	

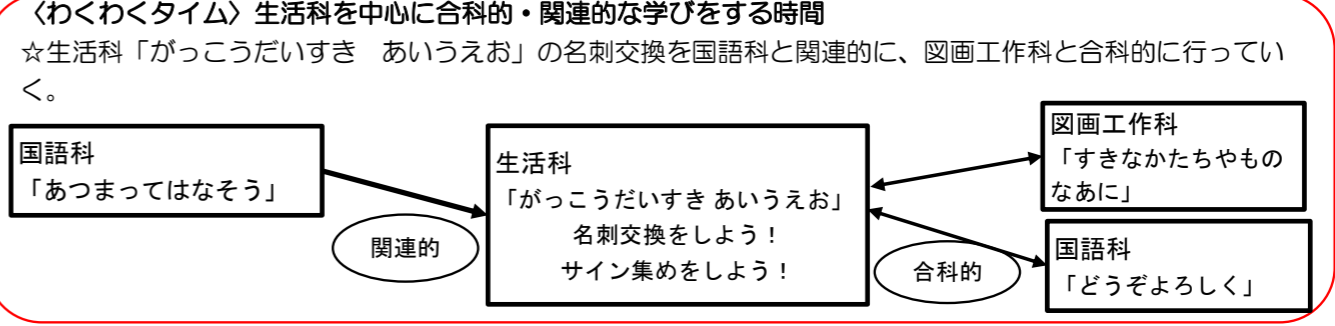
令和3年度 祇王小学校スタートカリキュラム 週案 (第2週)

週間の目標	○交通ルールを守り、安全に登下校する。 ○学級の友だちや先生たちと関わりをもち、挨拶をしたり、言葉を交わしたりする。 ○幼児期の経験を生かしながら学校のルールを知ったり、きまりを考えたりする。					な…なかよしタイム め…めいじんタイム わ…わくわくタイム ぐ…ぐんぐんタイム	
実施日	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目		
月日	4月19日	4月20日	4月21日	4月22日	4月23日		
曜日	月	火	水	木	金		
行事	給食開始	交通安全教室			学級懇談会 学習参観中止		
朝学習	身体測定のやり方の話を聞く。	体操服に着替える。		【読書タイム】 読み聞かせをする。			
1	生活 【なかよしタイム】 慣れ親しんだ手遊びや歌 読み聞かせ・体操・クイズなど	生活 【なかよしタイム】 慣れ親しんだ手遊びや歌 読み聞かせ・体操・クイズなど	生活 【なかよしタイム】 慣れ親しんだ手遊びや歌 読み聞かせ・体操・クイズなど	国語 【ひらがなの学習「し」】 書き順や気をつけるポイントを知る。	生活 【なかよしタイム】 慣れ親しんだ手遊びや歌 読み聞かせ・体操・クイズなど		
	国語 【あつまってはなそう】 ペアをつかって、自分の好きなものを話したり、聞いたりする。	国語 【がっこうだいすき あいうえお】 【どうぞよろしく】 もつとたくさんの友だちとするために、自分の名刺に名前を書いたり、絵描いたり、塗ったりする。	国語 【ひらがなの学習「つ」】 書き順や気をつけるポイントを知る。	国語 空書きや書き順に気をつけて書く。	算数 【なかよし③】 絵を見ながら動物や物に半具体物(おはじきやブロック)をおいて数える。		
	国語 【あつまってはなそう】 ペアをつかって、自分の好きなものを話したり、聞いたりする。	生活 空書きや書き順に気をつけて書く。	国語 言葉あつめや色ぬりをする。	算数 言葉あつめや色ぬりをする。			
2	行事	行事	算数	算数	国語		
	【身体測定】 身長・体重・視力・聴力などの測定や検査を行う。	【交通安全教室】 通学路を安全に歩くために、警察の人からお話を聞いて、実際に近くの公園まで歩く。	国語 言葉あつめや色ぬりをする。	算数 【なかよし②】 絵を見ながら、動物と物を線で結んだり、自分で比べたいものを線で結んで比べたりする。	国語 【ひらがなの学習「く」】 書き順や気をつけるポイントを知る。		
			算数 【なかよし①】 絵を見ながら、動物や物の数を数えたり、比較したりする。	算数 自分の比べたものを発表する。	国語 空書きや書き順に気をつけて書く。	国語 言葉あつめや色ぬりをする。	
3	学活	体育	生活	体育	生活		
	【そうじ名人】 教室やろうかの掃除のやり方を覚える。	【施設・用具の使い方②】 遊具の使い方を知る。簡単なルールや順番を守りながら、遊具遊びをする。	国語 読み聞かせをする。	体育 「前へならえ」や「小さく前へならえ」のやり方を覚える。	生活 【がっこうだいすき あいうえお】 サイン交換のやり方を確認して、友だちとサイン交換をする。		
	学活 実際に教室やろうかを掃除する。	道徳	国語 【がっこうだいすき あいうえお】 【どうぞよろしく】 自分の名刺に名前を書いたり、絵描いたり、塗ったりする。	体育 【鬼遊び①】 鬼遊びやかけっこ遊びをする。	生活 【おしごと名人】 学級の仕事にどんなことがあるかを知る。		
4	学活	体育	生活	生活	学活		
	【きゆうしよく名人】 給食当番の仕事の内容や約束事を知り、給食について考える。	ならびっこあそびをする。	国語 【がっこうだいすき あいうえお】 【どうぞよろしく】 友だちと自己紹介をしたり、好きなものを言ったりして名刺を交換する。	生活 【がっこうだいすき あいうえお】 自分のサインを考える。	学活 【おしごと名人】 学級の仕事にどんなことがあるかを知る。		
	学活 給食の準備をする。	体育 体操服に着替える。	生活 サイン交換をするやり方を考える。	生活 サイン交換をするやり方を考える。	園工 当番カードをつくる。		
5	国語	図工	音楽	生活	音楽		
	【がっこうだいすき あいうえお】 【どうぞよろしく】 みんなと仲良くなる方法を考え、名刺を作ったとりの友だちと交換する。	【かきたいものなかに②】 八つ切り画用紙に自分の好きな絵を描く。	音楽 【うたっておどってなかよくなる①】 絵の中から歌を見つけて、みんなと歌う。 動物のまねをしたり、体を動かしながら楽しむ。	生活 【がっこうだいすき あいうえお】 サイン交換のやり方を確認して、友だちとサイン交換をする。	音楽 【うたっておどってなかよくなる②】 歌に合わせて体を動かしたり、リズムに合わせて手拍子をしりする。		
	学活 帰りの用意をする。	学活 帰りの用意をする。	学活 帰りの用意をする。	学活 帰りの用意をする。	学活 帰りの用意をする。		

たくましい心と 体づくり (丈夫な子)	<ul style="list-style-type: none"> 遊具で安全に遊んだり、体操したりして身体を動かすことを楽しむ。 給食で出てくる色々な食べ物に興味をもち、食べる。 登下校の安全について話を聞き、安全に歩くことを意識する。
心豊かな仲間づくり (やさしい子)	<ul style="list-style-type: none"> 色々な友だちとあいさつをしたり、自己紹介をしたりして、名刺交換を楽しむ。 サイン交換を行い、たくさんの学級の友だちと関わる。
確かな学びづくり (考える子)	<ul style="list-style-type: none"> 授業中と休み時間の区別が少しずつできるようになる。 そうじのやり方が分かる。 ひらがなや数字の書き方を少しずつ覚える。 算数ボックスのおはじきやブロックを使って数が数えられる。 読み聞かせや図書館を利用して本に親しむ。

〈なかよしタイム〉安心をつくる時間
 ☆朝学習や1時間目の始めを「なかよしタイム」とし、安心して1日のスタートができるようにする。
 ☆安心感を増やしたり、先生や友だちと仲良くなったりするきっかけづくりをする。
 ・幼稚園、保育園で慣れ親しんだ手遊びや歌 ・読み聞かせ
 ・体操 ・クイズ など

〈めいじんタイム〉自分でできることを増やす時間
 ☆ランドセルの片付け方や引き出しの使い方など、小学校の生活で身につけることを「名人タイム」として設定し、「わかった!できた!」を増やしていく。できたことを、掲示したり、シールを貼ったりするなどして目に見える評価をする。また、学習した次の日にできていたことはしっかりと褒め、できた!を積み重ね、意欲を高める。
 ☆今週をめでとに名人タイムを終了する。自分たちできることや幼稚園・保育園でしてきたことがつながっていることに気付かせる。



〈ぐんぐんタイム〉各教科の学習の時間
 ☆算数科はブロックを使って、具体物を使いながら学習を進める。
 ☆国語科は、ひらがなが中心の学習になるが、書く時間・言葉集めをする時間・読む時間など児童の集中できる時間を考えて1時間の授業の進め方を考える。
 ☆45分間集中させることは難しいので、10分~15分ごとに活動を変えたり、少しずつ変化を加えたりしながら学習を進める。

ぎょうこタイム(20分間)

水曜日	【なかよしタイム】 ・幼稚園、保育園で慣れ親しんだ手遊びや歌 ・読み聞かせ ・体操 ・クイズ など
金曜日	

研究主題： 自分で考え行動する力を育む保育や授業の在り方
～思いや考えを伝え合い、主体的に学ぶ子どもをめざして～

1 主題設定の理由

これまで本小学校区では、3幼稚園、1小学校、1中学校という校区の特性を生かし、幼小中15年間の子どもたちの育ちについて交流してきた。その中で、「自分で考え行動すること」「自分から伝えること」について子どもたちに弱さが見られることを共通理解してきた。そこで、子どもたちが試行錯誤しながら様々な体験をすることを通して思いや考えを伝え合い、自分から遊ぼう、学ぼうとする姿を育てていきたいと考えた。

研究については、五個荘地区の子どもたちの課題を踏まえ、育てたい力を「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」の「自立心」「言葉による伝え合い」「思考力の芽生え」に焦点をあてて進めることにした。研究1年目の昨年度は、幼小が互いの保育・教育を知ることの大切さを、取組を推進し、学びの連続性を確認することができた。研究2年目の今年度は昨年度の成果を生かし、幼小連携・接続を校内研究と関連付けることで、全校体制で取組を推進し、保育や授業の質を高めたいと考える。

2 幼児教育と小学校教育をつなぐ取組や接続期カリキュラムの検証・改善に向けた取組など

(1) 実施した研修会等

実施日	対象		内容等
4月5日	幼小	管理職、担当者	・幼小接続推進委員会① 事業確認、実施計画の確認
5月18日	幼小	昨年度の5歳児担任 今年度の1年担任、担当者	・保幼小連絡会① 1年生授業参観、情報交流
5月31日	幼小	研究推進委員会	・遊びから見える子どもの学びの可視化シート（春の遊び）
6月9日	幼小	3園から6名 小学校全教員	・幼小合同研修会① 子どもの育ちを見取り語る会
7月5日	幼小	研究推進委員会	・遊びから見える子どもの学びの可視化シート（夏の遊び）
7月8日	幼小	3園の5歳児担任、担当者	・接続期カリキュラム編成委員会①
夏季休業中	小	全教員	・幼小合同研修会② 保育参加
8月20日	幼小中	全教員	・校区研究会兼幼小合同研修会③ 講演、子どもの育ちを見取り語る会
10月4日	幼小	管理職、担当者 5歳児・1年担任	・公開授業の事前検討会（大学教授による指導、県指導主事の訪問）
10月8日	幼小	管理職、担当者 5歳児・1年担任	・公開保育の事前検討会（大学教授による指導、県指導主事の訪問）
10月28日	幼小中	全教員	・公開研修会（県指導主事の訪問、大学教授の講演）兼校区研究会
11月29日	幼小	研究推進委員会	・遊びから見える子どもの学びの可視化シート（秋の遊び）
12月16日	幼小	3園の5歳児担任、担当者	・接続期カリキュラム編成委員会②
2月8日	幼小	3園の5歳児担任、担当者	・接続期カリキュラム編成委員会③ 兼幼小接続推進委員会②研修成果報告会
2月14日	小	全教員	・研修成果報告会
2月28日	幼小	研究推進委員会	・遊びから見える子どもの学びの可視化シート（冬の遊び）
3月18日	幼小	管理職、3園の5歳児担任、教務主任、 特別支援学級担任、1年担任、担当者	・保幼小連絡会② 新1年生情報交流

(2) 加配教員の取組

◆保育への参画、保育の準備・打合せへの参加について

幼稚園では1週間に2日、主に5歳児の2クラスの保育に交互に参画した。また、0歳児から4歳児のクラスの保育へも数回ずつ参画し、活動をともにすることで子どもの育ちの連続性を感じた。保育の準備・打合せも含めて、保育者の環境構成や援助などを目の当たりにし、特に、ゆったりとした活動時間、学年に応じた振り返りの中には、以下のような保育者の環境構成と援助があった。

- ・0歳児…安心できる保育者のもとで、興味のあるものに触れられるような環境構成と援助。
- ・1歳児…安心できる保育者のもとで、身近な遊びに興味をもてるような環境構成と援助。
- ・2歳児…安心できる保育者のもとで、やりたい遊びを見つけられるような環境構成と援助。
- ・3歳児…保育者や友だちと一緒にやりたい遊びを楽しめるような環境構成と援助。
- ・4歳児…友だちや保育者と関わりながら、やりたい遊びを楽しめるような環境構成と援助。
- ・5歳児…友だちとのつながりを大切に、遊びを進められるような環境構成と援助。

園での保育参画の経験を生かし、小学校でも、以下のような点に留意し、学習活動を行った。

- ・入学当初は45分の枠にとらわれすぎない柔軟な時間割の編成を行い、活動時間を工夫する。
- ・「言葉による伝え合い」や実物を見せるなど、振り返りを工夫する。
- ・特に生活科の授業において、単元の目標や本時のねらい、付けたい力に迫るため、活動場所や動線の工夫、用具や素材の吟味や調整を行う。
- ・興味や関心をもてるような声かけを工夫する。活動を見守り、認め、自信や満足感を共有するとともに、必要に応じて伝え合いの橋渡しを行う。



◆接続期カリキュラム 【別添資料②③】

・実施

アプローチカリキュラム…安心・自信・期待を大切に、遊びを通して学びに向かう力を育てる。
3園共通の活動（歌、絵本）を設定する。

スタートカリキュラム…安心・自信・好奇心を大切に、登校後の自由遊びや親子下校の取組を実施した。「幼稚園ではどうしていたの？」と子どもたちに尋ね、一緒に学校生活を創る。

・検証（成果と課題）

アプローチカリキュラム…3園共通の活動（歌、絵本）を設定したことで、幼稚園の経験をどの子も共有することができた。

スタートカリキュラム…登校後の自由遊びの実施期間の見直しが必要。
親子下校で安心と安全を得られた子どもが多かった。

園での経験を生かし、生き生きと伝え合い、活動する姿が見られた。



・改善

アプローチカリキュラム…五個荘地区3園の5歳児担任と、今年度の5歳児の実態に合わせてマイナーチェンジ。伝え合う力を育てる工夫を重点的に行った。

スタートカリキュラム…今年度実施した取組の検証と9月に5歳児に実施したアンケート結果をもとに4月の週予定を見直した。登校後の自由遊びの期間も1週間短くした。親子下校と新1年生が自己を発揮できるような関わり方については引き続き実施する。

3 実践事例

◆幼稚園と小学校の教員をつなぐ取組

- ・合同研修会の実施…子どもの姿を見取り語る会として、1枚の写真から、子どものつぶやきや内面の声を考え、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を参考に育ちや学びを見取った。6月の研修会では、5歳児のどろんこ遊びの写真を使用し、幼小の教員が入り交じったグループで協議した。



- 8月の研修会では、5歳児と2年生の野菜栽培の写真を使用し、幼小中をリモートでつなぎ協議した。
- ・夏季休業中に小学校教員が幼稚園の保育に参画…参画を通して、幼児教育への理解を深めた。
- ・遊びから見える子どもの学びの可視化シートの作成…さくらんぼ幼稚園が季節ごとに1テーマで、0歳児から5歳児までの遊びの姿を記入したものを小学校が受け取り、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を参考にどのような姿があるかを考え、幼稚園にフィードバックした。
- ・小学校でのドキュメンテーションの掲示…毎月、さくらんぼ幼稚園が、0歳児から5歳児までの日頃の遊びの様子を保護者に伝えるために作成しているものを、小学校の職員室にも掲示した。
- ・加配通信の発行…加配教員が幼稚園や小学校勤務での気づきや学び、5歳児や1年生の子どもの様子を通信にまとめ、幼小の教員に向けて発信した。

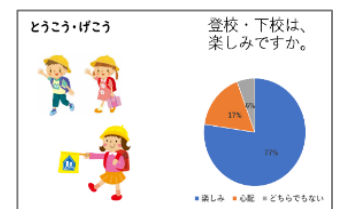
◆幼稚園と小学校の子どもをつなぐ取組

- ・3幼稚園の5歳児が遠足として小学校来校時に、1年生と一緒に遊びを通して交流。
- ・生活科の「秋まつり」では、1年生が5歳児を招待して交流。
- ・一日入学保護者説明会では、1年生から5歳児に校章入り手作りかばんにメッセージを入れてプレゼント。



◆幼稚園から小学校へ、子どもの思いをつなぐ取組

- ・アンケート「わくわくどきどき小学校に向けて」の実施…さくらんぼ幼稚園5歳児53名を対象に、加配教員が一人ひとりに学校生活のイラストを見せて、アンケートをとり、小学校生活への思いや不安等の実態を把握した。
- ・子どもの姿をつなぐ幼小接続期カリキュラムを作成、実施、検証し、改善した。
- ・5歳児キャリアパスポートの取組…9月のアンケートと同じイラストを見せ、楽しみなことや頑張りたいことに○をつけたり幼稚園の思い出を絵に描いたりしたものを、小学校に引き継いだ。(別添資料④)



4 研究の成果と課題

◆成果

- ・幼稚園と小学校が互いの教育を知り、互いの教員の願いや思いを知った。
- ・「自立心」「言葉による伝え合い」「思考力の芽生え」について、幼小中をつなぐ「五個荘地区で育てたい力」を設定し、保育や授業で意識できた。(別添資料①)
- ・校内研究と関連付けて全校体制で取り組んだことで、小学校の教員が、遊び=学びと捉えられるようになった。
- ・五個荘地区すべての幼稚園と小学校と一緒に接続期カリキュラムを作成することで、子どもの実態に合ったカリキュラムとなった。また、実施後は子どもの姿に基づいて検証し、改善することができた。

- ・教員の1年生への声のかけ方、関わり方が変化した。
- ・子どもが「今日何するの？」ではなく「今日は○○しよう」「○○するぞ」と自分たちで学校生活や学習を創り出していく姿が見られた。
- ・生活科を軸とした合科的・関連的な学習を展開することができた。

◆課題

- ・週案を含め、接続期カリキュラムを子どもの実態に合わせて今後も継続して改善する必要がある。
- ・幼小互いの保育・授業の参観や、保育・授業参加を実施したいが、全教員が参加するための時間の確保や調整等が難しい。
- ・幼稚園から申し送りのあった子どもについて、10の姿と照らし合わせながら継続して見取っていくことが一層必要である。

5 今後に向けて

- ・互いの保育・教育を知り、作成した「五個荘地区で育てたい力」を保育・授業改善に生かしていく。
- ・毎年継続して、週案を含めた接続期カリキュラムを子どもの実態に合わせてマイナーチェンジする。
- ・園で付けてきた力を生かし、子どもの思いに寄り添いながら、ねらいに向けた授業づくりを継続する。

〈めざす子どもの姿〉→ 五個荘地区で育てたい力

10の姿	自立心 (主体的な学び)	言葉による伝え合い (対話的な学び)	思考力の芽生え
0歳児	・安心できる保育者のもとで興味のあるものにふれてみようとする子ども。	・身近な保育者に親しみをもち、欲求を出す子ども。	・身近な保育者のまねをして同じようにやってみようとする子ども。
1歳児	・安心できる保育者のもとで身近な遊びに興味をもつ子ども。	・身近な保育者に受け止めてもらうことで、安心して思いを出す子ども。	・身近な用具や玩具に興味をもち、触れたり試したりする子ども。
2歳児	・安心できる保育者のもとでしたい遊びを見つける子ども。	・保育者に自分の思いや欲求を伝えようとする子ども。	・素材にふれる中で、自分なりに見立てて遊ぼうとする子ども。
3歳児	・保育者や友だちと一緒にしたい遊びを楽しむ子ども。	・保育者や友だちに自分の思いを伝える子ども。	・様々な素材や用具を自分なりに扱ったり試したりする子ども。
4歳児	・友だちや保育者と関わりながらしたい遊びを楽しむ子ども。	・自分の思いを相手に伝えたり相手の思いを知ったりする子ども。	・友だちや保育者と関わりながらいろいろなことに気付いたり試したりする子ども。
5歳児	・友だちと一緒に目的をもって遊びを進め諦めずやり遂げようとする子ども。	・思いを出し合う中で、友だちにもそれぞれの思いや考えがあることに気付いたり受け入れたりする子ども。	・友だちと一緒に思いや考えを出し合いながら、試したり工夫したりして遊ぶ子ども。
小学校 低学年	・見通しをもち、めあてに向かって取り組もうとする子ども。	・自分の思いや考えをもち、相手に分かるように伝えようとする子ども。 ・相手の話に関心をもち、聞こうとする子ども。	・友だちと思いや考えを出し合いながら、よりよいものを生み出すために、試したり工夫したりする子ども。
小学校 中学年	・見通しをもち、めあてに向かって自分から進んで取り組もうとする子ども。	・自分の思いや考えをもち、理由や事例を挙げながら話の中心が明確になるよう伝えようとする子ども。 ・互いの考えの共通点や相違点に着目して聞こうとする子ども。	・自分の考えをもち、友だちと考えを出し合うなかで、色々な方法を試したり工夫したりしながら考えを整理しようとする子ども。
小学校 高学年	・見通しをもち、めあてに向かって自分から進んで取り組もうとする子ども。	・自分の思いや考えをもち、事実と感想、意見とを区別しながら相手に伝えようとする子ども。 ・互いの考えの共通点や相違点に着目して自分の考えを広げたりまとめたりしながら聞こうとする子ども。	・事象に対して疑問や自らの課題をもち、友だちとの交流で自らの考えを練り直し、試行錯誤しながら考えを深めようとする子ども。
中学校	・長期、短期の見通しをもって、自分で課題を見つけ、主体的に行動する子ども。	・自分の思いや考えをもち、情報を比較・分析し、相手に論理的に伝えようとする子ども。 ・相手の立場に立って考えを聞き、互いの違いを認め合おうとする子ども。	・各教科等の特性に応じた見方・考え方を働かせ、生活や社会と関連づけながら課題を見いだす子ども。 ・課題の解決に向けて多面的・多角的に考察し、科学的に探究する子ども。

五個荘地区 幼小接続期カリキュラム

別添資料②

校区の課題：真面目だが自分で考えて行動するのが苦手な子どもたち→育てたい力：自分で考えて行動する力（試行錯誤）。その土台となるのが思いや考えを伝え合う力。「自立心」「思考力の芽生え」「言葉による伝え合い」

		アプローチカリキュラム・・・安心・自信・期待						スタートカリキュラム・・・安心・自信・好奇心				
		遊びを通して、学びに向かう力を育てる。						就学前の経験や環境を土台に、学校生活への変化に対応できるように配慮して指導。				
領域	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	5歳児	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小1	4月	5月	6月～
健康	①健康な心と体 ②自立心	生活する力	・活動に見通しをもって生活する。 ・友だちと共通の目的に向かって競ったり力を合わせたりし、生活や遊びを進めようとする。 ・自分たちが生活しやすいような整理整頓の仕方を知る。 ・走る、跳ぶ、止まる、登る、押す、引っ張るなどの全身を使う遊びをする。	・就学に期待をもちながら見通しを立てて生活し、時間を意識して行動する。 ・友だちと考えや思いを出し合いながら、自分たちで生活や遊びを進めていく。 ・「ぐうびたぴん」の声をかけ合って意識して座ろうとする。	・小学校の1日の流れを知る。 ・新しい環境の中で、のびのびと遊ぶ。 ・幼稚園での経験を生かしながら、持ち物の準備、片付け、管理を自分でする。 ・幼稚園の経験を生かしながら、日直当番、掃除をする。 ・給食当番の活動に慣れる。 ・椅子に座っておこなう活動に慣れる。 「ぐうびたぴん」	・時間を意識しながら学習したり学校生活を送ったりする。 ・学校生活の見通しをもって、持ち物の準備、片付け、整理をおこなう。 ・よい姿勢で安全にいすに座って学習する。						
			人間関係	③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑨言葉による伝え合い	人と関わる力	・友だちと遊ぶ中で、相談しながらルールを考えたり作ったりして遊びを進めていこうとする。 ・トラブルや困ったことがあったときには、自分なりの考えをもち、どうすればよいか考えて行動しようとする。 ・当番活動を通して、周囲に認められる心地よさを感じる。 ・クラスでの遊びの振り返りなどで、自分の感じたことや考えたことを伝えたり友だちの思いを聞いたりする。	・友だちの良さを認め合いながら目的に向かって活動し、やり遂げた充実感を味わう。 ・トラブルや困ったことがあったときには、自分なりの考えをもち、どうすればよいか考えて行動しようとする。 ・当番活動を通して、周囲に認められる心地よさを感じる。 ・声の大きさやしさを意識して相手に伝わる声の大きさを調節したり話し方を考えたりする。	・学習や遊びの中で新しい友だちと関わり、自分を発揮しようとする。 ・トラブルや困ったことがあったときには、自分なりの考えをもち、どうすればよいか考えて行動しようとする。 ・当番活動を通して、周囲に認められる心地よさを感じる。 ・人前での発表の仕方や聞き方を知り、慣れる。「声の大きさ」	・約束やルールを守ったり作ったりして楽しく学校生活を送る。 ・トラブルや困ったことがあったときには、自分の気持ちを伝えたり相手の気持ちにも気付いたりすることを大切に、互いに気持ちよく解決しようとする。 ・当番活動を通して、学級集団への所属意識を高める。 ・人前での発表の仕方や聞き方を知り、慣れる。「声の大きさ」			
⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑩豊かな感性と表現	学ぶ力・体力	伝え合う力 友だちと共通の目的に向かって話し合ったり考えを出し合ったりする。				伝え合う力 自分の考えを言葉で伝えたり相手の話を注意して聞いたりし、伝え合うことを楽しむ。	伝え合う力 安心して自分の気持ちや思いを相手に伝え、相手の話も聞く。 (困ったことを発信する、気づきや感動を伝える)	伝え合う力 自分の気持ちや思いを自分の言葉で相手に伝え、周囲の話も聞く。				
環境 言葉 表現			・素材の特性を生かしたり必要なものを選んだりしてイメージしたものや作りたいものを工夫して作る。 ・秋の自然物を取り入れて遊ぶ。 ・感動したことや想像したことを絵に描いたりいろいろなものを使ったりして表現する。	・素材の特性を生かしたり必要なものを選んだりしてイメージしたものや作りたいものを工夫して作る。 ・正月遊びを通して、文字や数に興味をもったり友だちとルールを共有したりして遊びを進めていく。 ・霜柱、氷、雪、息の白さなど、冬の自然現象に関心をもち、遊びに取り入れる。 ・園生活を振り返り、話し合ったり、絵画、歌、言葉などいろいろな方法で表現したりしながら自分たちの成長を感じ、自信をもって過ごす。	・幼稚園で慣れ親しんだ歌、手遊び、体操を通して、学校の人・もの・ことと主体的に関わろうとする。 ・安心できる環境で、全身を使って学習活動に取り組む。 ・「やってみよう」の気持ちを大切に、繰り返し活動する。	・全身を使っての体験的な学習や、話す・聞くだけでなく、読み・書きを通して学びの幅を広げる。 ・一人でじっくり取り組む時間ももちながら、ペアやグループで伝え合ったり学びを広めたり深めたりする。 ・「やってみよう」の気持ちを大切に、繰り返し活動する。						
		歌	まっかな秋、かいじゅうのこんだて あわてんぼうのサンタクロース、十二支の歌	カレンダーマーチ さんぽ	校歌 さんぽ	にじ						
		絵本	わんぱくだんシリーズ、どんぐりむらシリーズ 十二支のはじまり	エルマーのぼうけん おおきくなったら	しゅくだい おおきくなるということは ぼちぼちいこか はるですよ	なつですよ あきですよ ふゆですよ						

第1週 めあて◎新しい環境に慣れて、安心して楽しく生活する。
 ・朝や帰りの用意の仕方を知り、自分でおこなう。
 ・学校探検を通して学校に親しみをもつ。
 ・安全に気をつけて、登下校する。

1日目は、5歳児担任からの応援メッセージを紹介したり1年担任の自己紹介をしたりして気持ちを前向きに切り替えられるような活動を入れた。4日目までは教科名を入れずに、活動のみを記した。集団登校後～1時間目はゆったり過ごせるようにし、朝の用意の仕方を全員そろって確認できるようにした。また学校や勉強に憧れをもっている気持ちを大切に活動を設定した。活動の中で、決まりや約束、使い方を知らせていく。

	入学式	1日目	2日目	3日目	4日目	
	4/11 (月)	4/12 (火)	4/13 (水)	4/14 (木)	4/15 (金)	
朝		手洗い、うがい、名札 ランリュックをロッカーに入れる。 自由遊び：教室、ワーク (お絵描き、読書、折り紙、こま、あやとり、ぬりえ) トイレ ↓	手洗い、うがい、名札 ランリュックをロッカーに入れる。 自由遊び：教室、ワーク (お絵描き、読書、折り紙、こま、あやとり、ぬりえ) トイレ ↓	手洗い、うがい、名札 ランリュックをロッカーに入れる。 自由遊び：教室、ワーク (お絵描き、読書、折り紙、こま、あやとり、ぬりえ) トイレ ↓	手洗い、うがい、名札 ランリュックをロッカーに入れる。 自由遊び：教室、ワーク (お絵描き、読書、折り紙、こま、あやとり、ぬりえ) トイレ ↓	
1時間目		1年生がんばろうの会：ワーク 5歳児担任からのメッセージ 1年生担任自己紹介 ↓ 朝の会（挨拶、日付、健康観察、予定） ランリュックの中身を引出しに入れる。 提出物回収	1年生よろしくねの会：ワーク みんなで歌って踊ろう♪さんぽ ↓ 朝の会（挨拶、日付、健康観察、予定） ランリュックの中身を引出しに入れる。 提出物回収	朝の会（挨拶、日付、健康観察、予定） ランリュックの中身を引出しに入れる。 提出物の回収 配布物 ↓ 鉛筆で書いてみよう	朝の会（挨拶、日付、健康観察、予定） ランリュックの中身を引出しに入れる。 提出物の回収 配布物 ↓ 鉛筆で書いてみよう	
2時間目		配布物 ↓ 帰りの用意 地区別児童会の場所確認	鉛筆で書いてみよう (姿勢、持ち方)	校舎1階みんなで散歩 (知っている人・ものがあるかな?) 校舎1階自由探検 (幼稚園と同じものはあるかな?) 見つけたことを話そう	校舎2・3階みんなで散歩 (知っている人・ものがあるかな?) 見つけたことを話そう 校舎2・3階自由探検 見つけたことを話そう	
3時間目		地区別児童会	帰りの用意 学年下校の仕方 ↓ 地区別親子下校	帰りの用意 学年下校の仕方 ↓ 地区別親子下校	なかまづくりとかずゲーム	
4時間目					給食準備の仕方・約束	
国語			1.	0.5	0.5	2.
算数					1.	1.
生活			0.5	1.	1.	2.5
図工						0.
音楽			0.5			0.5
体育						0.
道徳						0.
学活		2.	1.	1.5	1.5	6.
行事	1.					1.
児童会		1.				1.
合計	1.	3.	3.	3.	4.	14.

第2週 めあて◎新しい環境に慣れて、安心して楽しく生活する。
 ・学級の友だちの顔や名前を知り、挨拶したり遊んだりする。
 ・授業時間と休み時間を意識して過ごす。

5日目からは、登校後自分で朝の用意をしてから自由遊びの時間とした。5日目は週明けなので、登校後～1時間目はゆとりをもたせた。また、掃除当番の話合いから日直当番の活動も話題にあがると思われるので、日直当番の活動についても子どもたちとつくってけるとよい。

	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	
	4/18 (月)	4/19 (火)	4/20 (水)	4/21 (木)	4/22 (金)	
朝	手洗い、うがい、名札 ランリュックの中身を引出しに入れる。 提出物の回収 ランリュックをロッカーに入れる。 自由遊び	手洗い、うがい、名札 ランリュックの中身を引出しに入れる。 提出物の回収 ランリュックをロッカーに入れる。 自由遊び 朝の会 (挨拶、日付、健康観察、予定、配布物)	手洗い、うがい、名札 ランリュックの中身を引出しに入れる。 提出物の回収 ランリュックをロッカーに入れる。 自由遊び 朝の会 (挨拶、日付、健康観察、予定、配布物)	手洗い、うがい、名札 ランリュックの中身を引出しに入れる。 提出物の回収 ランリュックをロッカーに入れる。 自由遊び 朝の会 (挨拶、日付、健康観察、予定、配布物)	手洗い、うがい、名札 ランリュックの中身を引出しに入れる。 提出物の回収 ランリュックをロッカーに入れる。 自由遊び 朝の会 (挨拶、日付、健康観察、予定、配布物)	
1時間目	学活 朝の会 (挨拶、日付、健康観察、予定、配布物) 掃除の仕方を話し合おう	国語 あいうえおのうた ことばあつめ ひらがな	国語 あいうえおのうた ことばあつめ ひらがな	国語 あいうえおのうた ことばあつめ ひらがな	国語 あいうえおのうた ことばあつめ ひらがな	
2時間目	行事 身体測定	避難訓練	音楽・生活 校歌 うたっておどってなかよくなるろう	体育 鬼遊び 遊具で遊ぼう	体育 鬼遊び 遊具で遊ぼう	
3時間目	体育 ならびっこ 遊具で遊ぼう	算数 なかまづくりとかず	道徳・生活 たのしいがっこう	算数 なかまづくりとかず	算数 なかまづくりとかず	
4時間目	算数 なかまづくりとかず	生活・国語 みんなとなかよくなりたいな よろしくね、ひとつつながることば (ゲーム、サインあつめ)	生活・国語 みんなとなかよくなりたいな よろしくね、ひとつつながることば (ゲーム、サインあつめ)	生活・国語 みんなとなかよくなりたいな よろしくね、ひとつつながることば (ゲーム、サインあつめ)	音楽・生活 校歌 うたっておどってなかよくなるろう	
5時間目	図工 自分の顔を描こう	音楽・生活 校歌 うたっておどってなかよくなるろう	生活・国語 運動場探検 見つけたことを話そう	音楽・生活 校歌 うたっておどってなかよくなるろう	図工 すきなもののいっぱい	
6時間目			国語 ほんがたくさん			
国語		1.5	3.	1.5	1.	7.
算数	1.	1.		1.	1.	4.
生活		1.	2.	1.	0.5	4.5
図工	1.				1.	2.
音楽		0.5	0.5	0.5	0.5	2.
体育	1.			1.	1.	3.
道徳			0.5			0.5
学活	1.					1.
行事	1.	1.				2.
児童会						0.
合計	5.	5.	6.	5.	5.	26.

第3週 めあて◎学級の中で自己発揮し過ごす。
 ・1日の見通しをもち、学校生活を送る。
 ・幼稚園のときの経験を生かし、話合って当番活動に取り組もうとする。
 ・授業時間と休み時間を意識して過ごす。

	10日目	11日目	12日目	13日目	14日目	
	4/25 (月)	4/26 (火)	4/27 (水)	4/28 (木)	4/29 (金)	
朝	手洗い、うがい、名札 ランリュックの中身を引出しに入れる。 提出物の回収 ランリュックをロッカーに入れる。 教室で自由タイム 朝の会 (挨拶、日付、健康観察、予定、配布物)	手洗い、うがい、名札 ランリュックの中身を引出しに入れる。 提出物の回収 ランリュックをロッカーに入れる。 教室で自由タイム 朝の会 (挨拶、日付、健康観察、予定、配布物)	手洗い、うがい、名札 ランリュックの中身を引出しに入れる。 提出物の回収 ランリュックをロッカーに入れる。 教室で自由タイム 朝の会 (挨拶、日付、健康観察、予定、配布物)	手洗い、うがい、名札 ランリュックの中身を引出しに入れる。 提出物の回収 ランリュックをロッカーに入れる。 教室で自由タイム 朝の会 (挨拶、日付、健康観察、予定、配布物)		昭 和 の 日
1時間目	国語 あいうえおのうた ことばあつめ ひらがな	国語 あいうえおのうた ことばあつめ ひらがな	国語 あいうえおのうた ことばあつめ ひらがな	国語 あいうえおのうた ことばあつめ ひらがな		
2時間目	体育 鬼遊び 遊具で遊ぼう	生活・国語 もっとがっこうのことがしりたいな もっと探検したい場所、人を出し合う。	算数 なかまづくりとかず	算数 なかまづくりとかず		
3時間目	算数 なかまづくりとかず	算数 なかまづくりとかず	体育 鬼遊び 遊具で遊ぼう	音楽・生活 校歌 うたっておどってなかよくなるう		
4時間目	国語 あいうえおのことばをあつめよう	国語 あいうえおのことばをあつめよう	生活 探検グループをつくろう	国語 あいうえおのことばをあつめよう		
5時間目	学活 係の仕事	音楽・生活 校歌 うたっておどってなかよくなるう	図工 すきなものいっぱい	図工 すきなものいっぱい		
6時間目	\	\	国語 ほんがたくさん	\		

国語	2.	2.5	2.	2.	8.5
算数	1.	1.	1.	1.	4.
生活		1.	1.	0.5	2.5
図工			1.	1.	2.
音楽		0.5		0.5	1.
体育	1.		1.		2.
道徳					
学活	1.				1.
行事					
児童会					
合計	5.	5.	6.	5.	21.

もうすぐ しゅうりょうしき

なまえ

ようじえんで、たのしかったことや がんばったことを
えにかいてみましょう。

もうすぐ1ねんせい

なまえ

たのしみなことに、○をつけましょう。

べんきょう



べんきょう
イラスト



ともだち



ともだち
イラスト

やすみじかん



やすみじかん
イラスト

せんせい



せんせい
イラスト



きゅうしよく



きゅうしよく
イラスト



そうじ



そうじ
イラスト

どうこう・げこう



どうこう・げこう
イラスト

しゅくだい
あしたのようい



しゅくだい
イラスト



※ イラストは省略しています。

研究主題：「主体的・対話的で深い学び」をめざす保育・授業の在り方
～「生き生きと取り組む姿」と「言葉の豊かさ」の育成～

1 主題設定の理由

これまでの幼小連携の課題を踏まえ、研究1年目である昨年度は、幼小の滑らかな接続をめざし、互いの教育や子どもの育ちについて一緒に考える機会を設け、連携を深めることで共通の視点で研究を進めることができた。また、就学前の子どもたちの様子や園での育ちや学びを知ることで、子どもたちの姿を想定しながら、接続期カリキュラムを検討・作成することができた。一方で、遊びの中にある学びや育ちなどの幼児教育への理解や「スタートカリキュラム」の取組に対して、小学校の全教員への周知が不十分であったり、研究テーマに向けての取組が系統的に進められなかったりという課題が残った。

研究2年目の本年度は、「生き生きと取り組む姿」と「言葉の豊かさ」の育成について、校園間で育ちの連続性を意識した授業・保育を考え、組織的に実践していきたいと考えた。昨年度作成した接続期カリキュラムを実践し、学びの環境づくりや働きかけを行うことで、互いの実践を深め、連携から接続につなげていきたい。また「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を共有し、校園それぞれの段階の子どもの発達の特性と教育の特徴を相互に理解しながら研究を進めていきたい。

2 幼児教育と小学校教育をつなぐ取組や接続期カリキュラムの検証・改善に向けた取組

(1) 実施した研修会等

研修会等	実施日	対象	内容等
幼小打合せ	4/22～ 随時	幼小 担当者・管理職	・ 加配教員の幼稚園での勤務に向けた打合せ ・ 本事業の今年度の取組についての打合せ
本事業にかかる 授業公開	4/21	幼小 担当者・管理職	・ 1年生の授業公開・参観 ・ 今年度の接続期カリキュラムの方向性について
校内研究会・園内 研究会への参加 (合同研修会)	6/16 7/7 11/30 12/3 12/17 1/27	保幼小職員	・ 幼稚園の保育、小学校の授業を互いに参観し合 い、研究主題をもとにした研究協議会を実施 ・ 町内保育園の公開保育、園内研修会に参加
保幼小 接続推進委員会	8/19 12/6 3/4	町内保幼小 担当者・管理職	・ 事業について説明 ・ 幼小の接続、交流活動について協議 ・ スタートカリキュラムの検討 等
保幼小 連絡協議会	4/21 3/28・29	町内保幼小 担当者	・ 1年生の授業参観、情報交流 ・ 入学児童についての情報交流
職員研修	8/20	幼小職員	・ 県指導主事による幼小接続に関する研修
公開研修会	10/20	町内保幼小職員 県内保幼小職員	・ 本事業2年目公開研修会 公開保育・授業、研究実践発表 指導主事による指導講評・大学教授による講演
保幼小中 合同学習会	2/3	町内保幼小中 職員	・ 町内全職員を対象とした保育講演会 (オンライン研修)
保育園の公開保育	1/27 2/3 2/21	町内保幼小中職 員	・ 町内保育園、幼稚園の保育公開
大学教授の参観 指導助言	通年	1年生	・ 授業参観や子どもの見取り →研究についての指導助言

*計画はしていたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、町内保幼小中による校区教育研究会や小学校教員による保育体験など実施できない研修があった。

(2) 加配教員の取組

◆保育への参画、保育の準備・打合せへの参加

園では成長の過程を大切にしており、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を中心に、具体的な姿を想定した環境づくりや子どもへの関わりをしていた。遊びの中で伝える力を育てたり、共感することで自己肯定感を高めたり、子どもたちが夢中になれる環境づくりは、小学校でもぜひ取り入れたいと感じた。園内研究にも参加し、子どもの見取り方などについて学ぶことができた。5歳児のもっている力を知ること、小学校でのスタートカリキュラムの実践に生かすことができた。

◆加配通信の発行

年間を通じて定期的に幼小連携加配通信「ジョイント」（右図）を作成し、幼小連携・接続のポイントや幼児教育における遊びの中の学びについて職員に発信した。これにより、関係教員だけでなく、全職員の幼小連携・接続に関する意識が高まった。

通信では、1年生、5歳児の互いの様子を伝え、子どもの育ちや連携の取組についての共通理解を図った。また、幼小の互いの教育についての理解を促すように、小学校職員室に園だよりや保幼の園内研究会の資料を掲示した。

ジョイント〜つなぐ〜
遊びの中の「10の姿」

5領域との関係

- ① 目標やねらいが共有されながら、自分のペースで遊ぶ（園内・自己探求（準備・準備））
- ② 様々な状況や課題（例えば、準備・準備）に主体的に関与し、自分の思いや意図を表現し、コミュニケーションを図る（準備・準備）
- ③ 様々な状況や課題（例えば、準備・準備）に主体的に関与し、自分の思いや意図を表現し、コミュニケーションを図る（準備・準備）
- ④ 様々な状況や課題（例えば、準備・準備）に主体的に関与し、自分の思いや意図を表現し、コミュニケーションを図る（準備・準備）
- ⑤ 様々な状況や課題（例えば、準備・準備）に主体的に関与し、自分の思いや意図を表現し、コミュニケーションを図る（準備・準備）
- ⑥ 様々な状況や課題（例えば、準備・準備）に主体的に関与し、自分の思いや意図を表現し、コミュニケーションを図る（準備・準備）
- ⑦ 様々な状況や課題（例えば、準備・準備）に主体的に関与し、自分の思いや意図を表現し、コミュニケーションを図る（準備・準備）
- ⑧ 様々な状況や課題（例えば、準備・準備）に主体的に関与し、自分の思いや意図を表現し、コミュニケーションを図る（準備・準備）
- ⑨ 様々な状況や課題（例えば、準備・準備）に主体的に関与し、自分の思いや意図を表現し、コミュニケーションを図る（準備・準備）
- ⑩ 様々な状況や課題（例えば、準備・準備）に主体的に関与し、自分の思いや意図を表現し、コミュニケーションを図る（準備・準備）

◆職員研修

長期休業期間中に研修会を実施し、幼小全職員で幼小連携・接続について学ぶ機会を設けた。また、町内にあるもう1つの小学校へ加配教員が出向き、幼小連携・接続についての職員研修を通して、2年間の研究の成果について発信することができた。

◆接続期カリキュラムの実施・検証・改善について 【別添資料①②③】

昨年度作成した接続期カリキュラムを実施し、小学校では生活科を中心として合科的・関連的な指導を行った。また、授業内容を15分単位で組み合わせたり、2時間続き（90分）の活動を設定したりして、活動や学習内容に合わせた弾力的な時間割の設定をするなど、柔軟に指導することが子どもたちの主体的な学びにつながった。朝の時間には、自分が好きな遊びや活動をして、友だちとコミュニケーションを図ったり、クラスみんなで一緒に遊んだりする時間「おひさまたいむ」を設定した。園で遊んでいた遊び道具を教室に置いたり、ごさを敷いたりして、安心感のある環境の中でゆったりと過ごす時間を取ることで、1日のスタートが気持ちよく始められ、とても有意義な時間となった。

接続期カリキュラムの実施については、子どもの育ちを見通したのになっっているか、自校の実態にあっているかなど検証と改善を繰り返す必要がある。また、全ての教職員で共有し校園全体のものにしていくことが大切だと感じた。異なる環境で育ってきた子どもたちを受け入れ、幼児期に培った力を基にして、小学校生活につなげていくよう、指導内容や学習方法を工夫していきたいと考える。

3 実践事例

(1) 「生き生きと取り組む姿」を目指して



小学校実践

園で経験してきたことを小学校で生かせるよう、子どもたちに「任せる」ことを大切にしています。そのためには、子どもたちの「できる」ことを知り、挑戦できるような手応えのある活動を設定することで、生き生きと取り組む意欲がもてるようになりました。掃除も当番活動も、自分たちで進めています。



幼小の交流

5歳児との交流では、1年生の子どもたちがしっかりと話し合い、試行錯誤しながら自分たちで計画をたてました。前日にはリハーサルをして、「こういうふうにしたらいいな」と5歳児の視点から考える姿がありました。主体的に活動することが、さらなる活動への意欲につながっています。

5歳児がお花のゼリーを作りたいと考えました。はじめは水にお花を浮かべて冷凍庫で凍らせました。冷蔵庫から出してゼリーに見立てて遊んでいるとすぐに溶けてしまいました。氷で作ったゼリーでは遊べないことに気づき、本で調べて“ゼラチン”を入れるとゼリーができることを発見しました。



幼稚園実践

(2) 「言葉の豊かさ」を目指して



「ひらがなのうち」を使って字を探します。「し」は上から2番目!」「下から4番目!」「左から9番目!」「右から3番目!」同じ場所でも、言い方がいろいろあることを知り、言葉の豊かさが育っています。

活動の1つとして、絵本の読み聞かせをしています。読み聞かせに登場した絵本を後ろに置くことで、子どもたちが手に取ったり、自分でもう一度読んだりして、読書にも意欲的に取り組んでいます。10冊並ぶと写真にして掲示し、10のまとまりとして足跡を残しています。算数的活動にもつながっています。



日々の学校生活を写真に残し、教室に掲示しています。子どもたちは写真を見ながら活動を振り返っています。「あんなことしたね。」「これがおもしろかったね。」振り返りながら、友だちと言葉のやり取りをしたり、教師に話をしたりしています。

(3) 生活科（「困り感」と「自分で選択する」ことを大切に）

いきもの探しに出かけた時、子どもたちは最初、何も持たずに出かけました。すると、「つかまえる物がない」「つかまえたけど、入れる物がない」という声がありました。そこで、「次に行くときはどうするか」を話し合い、持って行く物を子どもたち自身が決めました。このように、子どもたちの「困り感」は、学習を主体的に進める上で大切にしています。教員が何でも安易に与えるのではなく、子どもたちが困り感から「どうしよう」と考え、「こうしたい」という思いをもつための手立てを工夫しています。

いきもの探して、バッタやいもむし、ちょう、かなへびなど、たくさんの生き物を見つけた子どもたちは、自分の思う方法で、いきものたちと関わっていました。もっとたくさんいきものを見つけない子、いきものを育てる家を作りたい子、育て方をくわしく調べたい子、絵を描きたい子など、同じ目的をもった友だちと、相談したり、協力したりしながら活動を進めていきました。各々の興味・関心に応じた学習内容や方法を子ども自身が自分で選択することで意欲的に取り組む姿につながりました。

小学校実践

4 研究2年目の成果と課題

(1) 成果

- ・就学前の子どもの実態を把握し、園での学びを生かしたスタートカリキュラムを進めることができた。
- ・研修会や通信を通して、幼児教育やカリキュラムに対する職員の理解が深まった。
- ・1年生と5歳児の交流では、互いのねらいを明確にして交流の場を設けることで、子どもたちの生き生き取り組む姿につながることができた。
- ・校種間の連携を系統的に進められるように校園の話し合いを進めることで、めざす子どもの姿をより具体的に共有することができた。

(2) 課題

- ・接続期のカリキュラムを幼小互いの教育課程に組み込むなど、今後も継続して取り組んでいけるようにすること。
- ・園、小学校の教員が、お互いの保育や授業をもっと気軽に参観できる体制の確立すること。

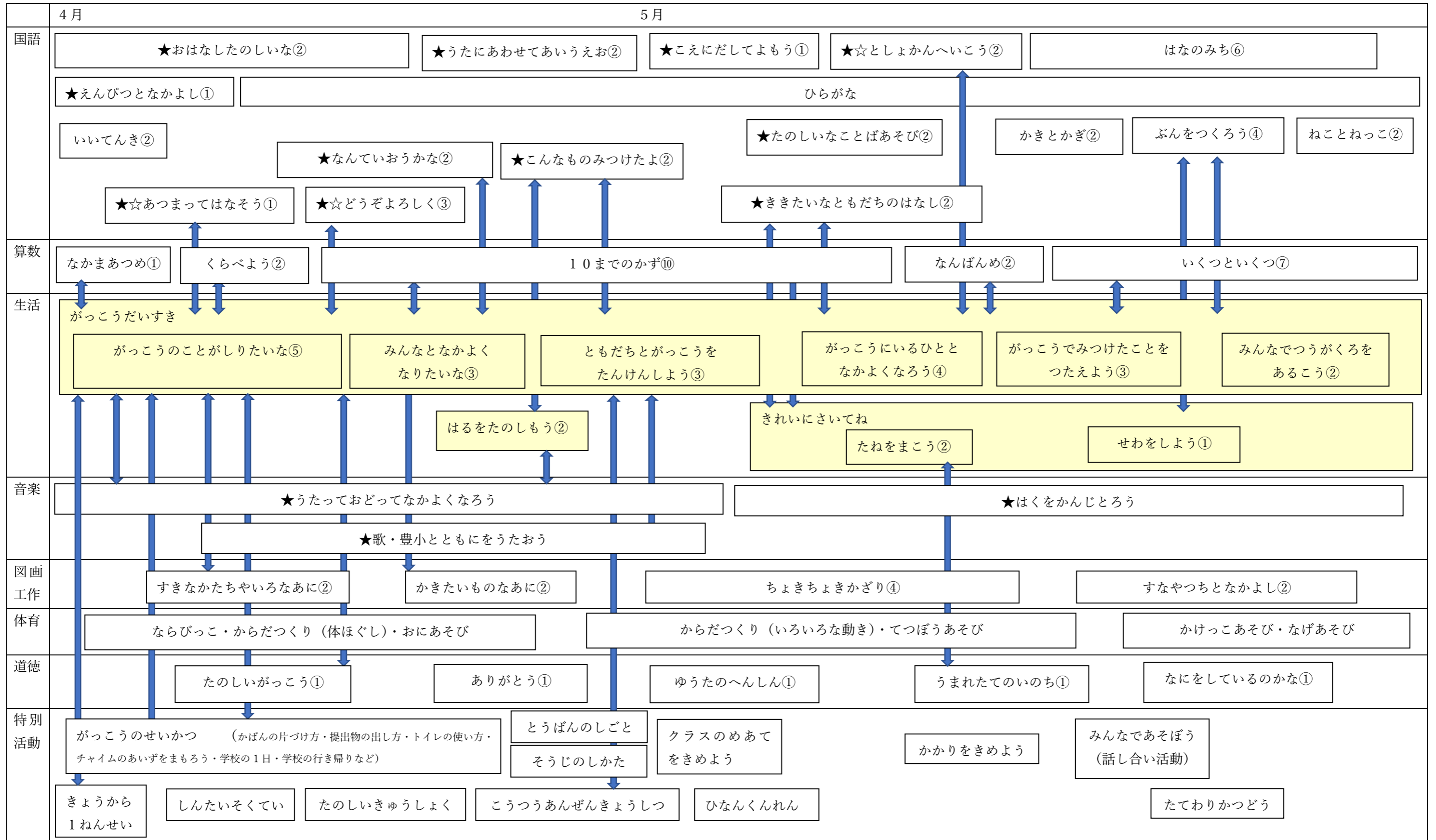
5 今後に向けて

- ・どのような保育・授業を通して、どのような姿が見られるようになり、どのような力がついていくのか、3つの資質・能力や10の姿を基に「連携・接続」を意図して、教育課程に組み込んでいく。
- ・幼小で「育ちや学びの連続性」を意識した引き継ぎを行い、具体的な姿や支援を共有するとともに、今後も継続的に幼小連携・接続を進めていけるように、町としての体制づくりを推進していく。
- ・作成した接続期カリキュラム（アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム）については、継続してPDCAサイクルを回し、次年度につなげていく。
- ・園では、生き生きと繰り返し遊び込める環境を工夫し、学びのプロセスを大切にしながら、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」につなげていく。
- ・入学した子どもたちを「きちんとした小学生にする」のではなく、しっかりと個に寄り添いながら、「学校が楽しい」「学校に行きたい」という意欲や自信をもたせることを大切にする。

アプローチカリキュラム		幼稚園教育 1月 2月 3月			スタートカリキュラム 4月 5月		
	具体的な活動	遊び・活動例	めざす子どもの姿	幼児期までに育てほしい10の姿	めざす子どもの姿	学習内容	
生活力	<ul style="list-style-type: none"> ・食事に关するマナーを守りながら楽しく食べる。 ・食べ物に興味、関心をもち食べることを楽しむ。 ・給食の配膳を当番活動に取り入れ、調理に関わってもらった人への感謝の気持ちをもつ。 ・持ち物の整理整頓や衣服着脱を自分でしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配膳の絵表示 ・栄養素の絵表示 ・お箸で食べる ・給食当番 ・三角食べ ・雑巾を絞る ・当番活動 ・掃除をする ・挨拶をする ・手洗いうがい 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 	健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい環境に興味をもち、学校生活を楽しむ。 ○小学校の生活の流れや場(教室、トイレ、保健室、校庭など)に慣れ、安心して過ごす。 ○よりよい生活のために、時間を意識し、見通しをもって生活する。 ○様々な動きを経験し、楽しく運動(遊び)に取り組む。 ○約束を守り、安全に行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち物の準備や帰りの用意の仕方を知ろう(生活科・学級活動) ・机やロッカー、靴箱、トイレの使い方を知らう(生活科) ・楽しい給食(給食の配膳、片付けの仕方など)(学級活動) ・給食のおはなしを聞こう(生活科) ・学校の1日の流れを知らう(生活科) ・チャイムの合図をまろう(生活科) ・運動遊び(体育科) ・休み時間の遊び、みんな遊び ・安全な登下校の方法を知らう(生活科) ・交通安全教室(学校行事) ・避難訓練(学級活動・学校行事) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の流れに見通しをもち、身の回りの始末をおこなったり、食事を終えたりする。 ・先生や友達と一緒にいろいろな運動遊びを楽しむ。 ・避難の方法を知ったり、避難訓練をしたりして、自分の身の守り方を知る。 ・交通ルールを知り、安全に行動しようとする。 ・廊下を走ると危険なことを知り、走らないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一日のスケジュールボードを示す。 ・時計を見て生活する(視覚環境を整える) ・マラソン、縄跳び、雲梯、リレー等・集団遊び ・安全な遊び方 ・道具の使い方 ・避難訓練に参加する ・散歩のでかける(正しい道の歩き方を知る) 	<ul style="list-style-type: none"> ○時間を意識し、見通しをもって生活や遊びを行う。 ○いろいろな場面にに応じて体を十分に動かして遊ぶ。 ○自ら気付き、安全な生活を送ろうとする。 		自立心	<ul style="list-style-type: none"> ○自分でできることは自分でしようとする。 ○初めてや困難なことにも粘り強く取り組もうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日直、給食当番、そうじのやり方を知らう(学活)
かかわる力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の物と友達の物を区別でき、どちらも大切にしようとする。 ・みんなで使うものに愛着をもち、大事に扱おうとする。 ・してよいこと悪いことの区別をして行動しようとする。 ・きまりの必要性を理解し、新しいルールを作ったり、守ったりする。 ・トラブル等を通して自分の気持ちに折り合いをつけようとする。 ・自分の気持ちとは異なる友達の気持ちに気付き、分かつようとする。 ・異年齢児に親しみをもち、一緒に遊んだり、面倒をみたりして思いやりの気持ちをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールのある集団遊び(ドッジボール・鬼ごっこ・イスとりゲーム等) ・雲梯、こま回し、けん玉、鉄棒等 ・園行事(生活発表会等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ルールを理解し、その大切さに気付き守ろうとする。 	協同性	<ul style="list-style-type: none"> ○良いことや悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行う。 ○相手の気持ちに共感したり、自分の行動をふり返ったりして友だちの気持ちを思いやる。 ○相手の気持ちを約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切にす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「どうとく」ってどんなことするのか(道徳科) ・たのしいがっこう(道徳科「よりよい学校生活、集団生活の充実」) ・ありがとう(道徳科「感謝」) ・ゆうたのへんしん(道徳科「節度、節制」) ・なにをしているのかな(道徳科「善悪の判断」) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いに良さを認め合い、クラスみんなで共通の目的をもって取り組み、一緒にやり遂げた喜びを味わう。 ・色々な友だちと関わる中で、『嬉しい』『くやしい』『悲しい』『楽しい』など、様々な感情体験を味わい、関わりを深めていく。 ・クラス・学年の友達を意識し、みんなで活動する楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園行事(運動会、発表会) ・共同製作 ・ごっこ遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達の良さに気付き、一緒に活動する充実感をもつ。 		<ul style="list-style-type: none"> ○集団生活の中で、自分の力を発揮しながら友達と関わり生活したり学び合ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちのことを知らう(生活科・国語科・図画工作科) ・みんなで遊ぼう(学級活動) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生や町内の5歳児の友達など、いろいろな人と関わり親しみをもち。 ・地域や高齢者施設の人々に親しみをもち、その場所に合った行動がとれるようにする。 ・挨拶を進んでしようとする。 ・社会生活で経験したことを取り入れて遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5、5交流会 ・5歳児交流・お茶会・世代間交流・散歩・挨拶をする ・お店屋さんごっこ 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な人に親しみをもち関わる。 		社会生活との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな人と関わることを楽しむ。 ○学校の人たちや友だちに親しみの気持ちをもって、あいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで遊ぼう(体育科) ・めいしをつくってこうかんしよう(国語科) ・めいしをわたしてなかよくならう(国語科・生活科)
	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で自分の考えや思いを相手に分かるように伝えたり、相手の話を聞いたりして、相談しながら進めようとする。 ・先生や友達の話を注意して聞き、分かつようとする。 ・困ったことや感じたことを言葉で表現する。 ・必要な言葉が分かり、場面にに応じてつかう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊び ・毎日の振り返り ・集団遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉による伝え合いを楽しむ。 		言葉による伝えあい	<ul style="list-style-type: none"> ○活動の中でできごとや思ったこと・考えたことを言葉で伝える。 ○話す人を見て、最後まで聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あつまってはなそう(国語科) ・どうぞよろしく(国語科) ・なんでいおうかな(国語科) ・こんなものみつたよ(国語科・生活科) ・ききたいなともだちのはなし(国語科・生活科)
	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本やお話に親しみ自分のイメージを動きや言葉で表現したり演じたりして遊ぶ。 ・友達と互いのイメージを認め合いながら、表現する喜びを味わい、協力して1つのものを作り上げる。 ・友達と気持ちを合わせて歌ったり様々な楽器にふれたりして、音楽に親しむ。 ・役や台詞を考えたり、衣装や道具を身近な材料を使って作ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・描画活動・読み聞かせ ・コンサートごっこ・劇遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ○感じたことや考えたことを自分なりに表現する喜びを味わう。 		豊かな感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉、歌や楽器、造形など感性を働かせ、自分なりに表現することを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を見ておはなししよう(国語科) ・声にだしてよう(国語科) ・うたっておどってなかよくならう(音楽科) ・かきたいものなみに(図画工作科) ・すなやつちとなかよし(図画工作科)
	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな物に興味をもち、調べたり試したり確かめたりする。 ・身近な物からイメージを膨らませ、考えたり、工夫したりして、新しい発見をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作遊び(絵具、粘土等)・グループ活動・ごっこ遊び ・発表会・振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ○試行錯誤しながら多様なかかわりを楽しむようになる。 ○友達の考えにふれ、自分の考えをよいものにす。 		思考力の芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい環境や教科等の学習に興味や関心をもつ。 ○授業中、教師や友だちと対話する中で、新たな気づきや発見をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・がっこうだいすき(生活科) ・がっこうをたんけんしよう(生活科) ・係活動しよう(学級活動)
<ul style="list-style-type: none"> ・冬自然現象に興味をもち、それを取り入れて遊んだり、不思議に思ったり試したり、その美しさを感じたりする。 ・自然物を遊びに取り入れ、季節の移り変わりに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外遊び・散歩・遠足・雪遊び ・氷 ・自然物を使った遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な自然にふれて遊び、美しさや不思議さなどを感じる。 	自然との関わり・生命尊重	<ul style="list-style-type: none"> ○自然に興味をもち、自然との関わりを楽しむ。 ○命の尊さに気づき、大切にす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・春を見つけよう(生活科) ・あさがおを育てよう(生活科) ・野菜を育てよう(学級活動) ・生き物だいすき(生活科) ・うまれたてのいのち(道徳科「生命の尊さ」) 		
<ul style="list-style-type: none"> ・文字で伝える楽しさに気付き、生活や遊びのなかで文字を使おうとする。 ・お正月遊びなどを通して、文字で伝える楽しさに気付いたり数量を取り入れたりして、興味関心をもつ。 ・お店屋さんごっこの売り買いを経験する中で、数を数えたり文字を読み書きしようとする。 ・マークや色々な標識の役割を理解したり、取り入れたりして遊ぶ。 ・行事を通して、国旗に親しみをもち。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お手紙ごっこ(年賀状等)・ひらがな表の活用 ・かるた・すごろく ・時計・数を意識できる視覚表示 ・カレンダー・歌詞の掲示 ・お店屋さんごっこ ・砂遊び・色水遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ○数量や図形、標識や文字などに興味・関心をもつ。 	数量や図形、標識や文字等への関心・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉や文字に興味をもち、進んで読んだり書いたりする。 ○数に興味をもち、数や順番を数えたり、数字を使って表す。進んで読んだり、書いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢、鉛筆の持ち方に気をつけて書こう(国語科) ・自分の名前を書こう(国語科) ・ひらがなの学習、ことば見つけ(国語科) ・おはなしのしいな(国語科) ・なかまづくり、10までの数(算数科) 		
教育課程(5歳児V期)	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びに見通しを立て、意欲的に進める。 ・友達と協力して様々な活動をすすめながら互いの良さを認め合う。 ・就学への期待をもち、園生活を楽しく中で友達とのつながりを深める。 	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と楽しく活動する中で、共通の目的を見出し、工夫したり協力したりする。 ・日常生活の中で文字や数字を使う楽しさを味わう。 ・共通の目的に向かって、友達と一緒に協力し最後までやり遂げようとする。 ・自分なりの目標をもって、いろいろな運動遊びに取り組み、達成する喜びを感じる。 ・冬自然現象に興味をもち、それらを取り入れて遊んだり、その美しさや不思議さを感じたりする。 ・正月遊びなど、友達や保育者と一緒に楽しむ。 ・発表会に期待をもち、考えを出し合いながら自分のイメージを広げる。 ・行事を通して、国旗に親しむ。 ・春の訪れを感じ、就学への期待を膨らませ、自覚をもって行動する。 			<p>「幼児期の終わりまでに育てほしい姿」が行きつ戻りつしながら徐々に小学校生活や学習へと繋がっていく</p>	<p>国語科 算数科 生活科 音楽科 図画工作科 体育科 特別の教科 道徳 特別活動</p>	

豊郷小学校 入学当初各教科等単元配列（生活科を中心とした合科的・関連的な指導）

★はスタートカリキュラムにおいて特に大切にしたい活動
☆は入学当初だけではなく、1年を通して取り組む活動



豊郷小学校スタートカリキュラム（第1週）

目標	【はじめまして、豊郷小学校】 1年生になったことを喜び、心をほぐし、安心して過ごそう								
	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目				
月日	4月12日	4月13日	4月14日	4月15日	4月16日				
曜日	月	火	水	木	金				
行事	入学式	1年生下校指導	1年生給食開始 登校別会・下校指導	身体測定	交通安全教室				
登校後	好きな遊びをして過ごす		朝のしたく（荷物を片づけ、提出物を出す）を自分でする ▶ 好きな遊びをして過ごす						
朝の会	あいさつ・健康観察の仕方		あいさつ・健康観察・持ち物の確認・今日の予定						
のびのび タイム	なかよくあそぼう（歌・手遊びや体を使って・ゲームなど）								
1		国	絵本の読み聞かせ【学】	国	絵本の読み聞かせ【学】	国	絵本の読み聞かせ【学】	国	絵本の読み聞かせ【学】 「春に関する絵本」
		生	「学校のはてなをかいけつしよう」【生】	国	自分のことを紹介しよう ともだちの名前を知ろう【学】	国	教科書を開いてどんな勉強をするか知ろう【学】	国	「いいんき」教科書を見てきつたことを話そう【学】
		生	①荷物の片づけ方を考え、やってみよう ②荷物（かばん・水筒など）の片づけ方、引き出しやロッカー、道具箱の使い方を考え、やってみよう ③提出物の出し方を考え、やってみよう ④靴箱の使い方を考え、やってみよう ⑤トイレの使い方を考え、やってみよう ⑥小学校の1日【生・学】	生	体探検への着替え方やぬいだ服の片づけ方を考えやってみよう【生】	体	自分の体の成長を感じよう（身体測定）【生】	国	えんぴつを正しく持って自分の名前を書こう【学】
2	行	にゅうがくしき	生	体	ならびっこ遊び【学】	行	交通安全教室【生】	行	交通安全教室【生】
	行		生	体	外で遊ぼう【学・生・か】	行	みんなが通学路を歩こう【生】 春をさがそう【学】	行	みんなが通学路を歩こう【生】 春をさがそう【学】
	行		生	道	ならびっこ遊び【学】	生	ならびっこ遊び【学】	生	ならびっこ遊び【学】
3	学	今日から1年生【学】【か】	生	国	遊んだことや見つけたものについて話そう【学】	体	遊具で遊ぼう【学・生・か】	国	見つけた春について話そう【学】
	学		国	安全な下校について話し合おう	道	えんぴつの正しい持ち方を知ろう【学】	音	教科書を見て、知っている歌を楽しく歌おう【学】	
	学		国	学年下校の仕方を覚える	体	眼に着替え、体操服の片づけ方を考えてやってみよう【生】	音	リズムにのって名前あそびをしよう【学】	
4			学	学	「たのしいきゅうしょく」給食の準備のしかた【生】	学	そうじのやり方を覚えよう【生】	算	なかまをあつめよう【学】
			学	学	給食の準備をして、楽しく食べよう【生・か】	学	そうじをやってみよう【生】	算	なかまをあつめよう【学】
			学	学	給食の準備をしよう【生】	学	給食の準備をしよう【生】	学	給食の準備をしよう【生】
5			児	児	安全に気をつけて登下校しよう（登校別会）【生・か】	生	学校たんけんをしよう【学】	図	クレパスをつかって好きなものをいっぱい絵にかこう【学】
			児	児	安全に気をつけて登下校しよう（登校別会）【生・か】	生	学校たんけんをしよう【学】	図	クレパスをつかって好きなものをいっぱい絵にかこう【学】
			学	学	帰りの用意をする	学	帰りの用意をする	学	帰りの用意をする
下校	11:30	11:30	14:40	15:00	15:00				

【生】生活力 【か】かかわる力 【学】学ぶ力

生活力	<ul style="list-style-type: none"> 自分の持ち物を自分で管理し、机の中、ロッカーの中の整理整頓を指導する。 配布物は、順番にきちんと渡すことや、手紙のたたみ方、連絡袋のしまい方を指導する。 トイレの使い方やスリッパをそろえること、汚さないでできるように一人一人見守る。 子どもの動きを見ながら、次の行動に移れるよう見守り、チャイムの合図を指導する。 安全に気をつけて、上級生や同じ学年の友だちと登下校できるように声をかける。
かかわる力	<ul style="list-style-type: none"> 教室で子どもたちを出迎え、安心して教室に入れるようにする。 保育所・幼稚園などから一人で来ている子を把握して配慮できるように見守る。 自分からすすんであいさつをし、元気よく返事ができることの大切さを伝える。 友だちと話したり、話は最後まで聞いたりして、ルールを守って仲良く遊べるようにする。 自分の伝えたいことを、相手に分かるように話すことの大切さを常に指導する。
学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> 教科書、ノート、下敷き、ものさしなど、学習に使うものや教科の名前などを教える。 教科書を初めて開くときに見やすく押さえることや、ノートは前から順番に使うことや、下敷きを敷いて書くことなど、勉強の導入の基本を指導する。 机の上の本・ノート・筆箱の置き場所や椅子の座り方や姿勢、立ち方、挙手の仕方、発表の仕方などを、学習の基本的な習慣を指導する。 鉛筆の持ち方を教え、線なぞり遊びをしながら、線の通りなぞるよう指導する。 先生の話に関心をもって聞けるように、話の聞き方を指導する。

	月	火	水	木	金
にち	4/12	4/13	4/14	4/15	4/16
よてい	にゅうがくしき	1ねんげこうしどう	きゅうしょくかいし とうこうはんべつかい⑤ げこうしどう	しんだいそくてい	こうつうあんぜんきょうしつ
あさかつ		☺おひさま	☺おひさま	☐おはなしをきこう	☺おひさま
1	☺がっかつ	☺おひさま みんなと なかよしになろう (こくご・おんがく)	☺おひさま みんなと なかよしになろう (こくご・おんがく)	☺おひさま みんなと なかよしになろう (こくご・たいいく)	☐こくご じぶんのなまえを かこう
2	☺ぎょうじ	☆せいかつ	☺おひさま	☐がっかつ	☐どうとく
	にゅうがくしき	がっこうのはてなを かいけつしよう	はるをみつつけよう たのしくあそぼう (たいいく・せいかつ)	しんだいそくてい しりよく・ ちょうりよくけんさ	こうつうあんぜん きょうしつ
3	☺がっかつ	☆せいかつ	☐こくご	☺たいいく	☺おんがく
	きょうから 1ねんせい!	がっこうのはてなを かいけつしよう	えんぴつをもって かいてみよう	ならびっこ たのしくあそぼう	うたで なかよしになろう
4			☆がっかつ	☆がっかつ	☐さんすう
			たのしい きゅうしょく	きょうしつを きれいにしよう	なかまあつめを しよう
5			☐じどうかい	☆せいかつ	☐ずこう
			とうこう はんべつかい	がっこうたんけん をしよう	くれぱすで かこう
もちもの		いろえんぴつ くれぱす のり・はさみ	たいそうふく (はんそで・はんすぼん) あかしろぼうし おはし・はみがきセット えぶろん・ばんだな こくご・しよしゃの きょうかしよ	たいそうふく(はんそで・はんすぼん) あかしろぼうし →まだのひと ほけんかんけいの しよるいしめきり	くれぱす・はさみ →まだのひと おんがく・ずこう・ こくご・さんすう・ どうとくのきょうかしよ
げこう じかん	11:30ぶんご ちやこけつ	11:45ぶんご 1ねん	14:55ぶんご ぜんご	14:55ぶんご 1・2・ねん	14:55ぶんご 1・3ねん

研究主題：自ら学び、未来を生き抜く瀬田北っ子の育成

～地域と共に、幼小が一体となり子どもの育ちを支える～

1 主題設定の理由

本地域の子どもたちは新しいことへの関心が高く、課題にも前向きに取り組むことができる。一方で、課題に対して深く考えたり、自分なりの思いや考えをもったり、主体的に実践する力に弱さがあり、幼小連携・接続を通して子どもたちの学びたいという意欲をさらに伸ばすような保育・教育の実践をしたいと考えた。また、幼稚園から小学校へスムーズに移行するための接続期カリキュラムをつくり、実践することで段差につまずく子どもたちを少しでも減らしたいという思いで研究を進めることにした。

2 幼児教育と小学校教育をつなぐ取組や接続期カリキュラムの検証・改善に向けた取組など

(1) 実施した研修会等

実施日	対象		内容等
4月8日	幼小	幼小管理職、担当者、5歳児担任	加配教員の幼稚園勤務、本事業に関する打合せ
6月10日	幼小	全教職員	幼小交流会
8月5日	幼小	全教職員	大学教授からの講話→幼小接続で意識すること
8月23日	幼小	全教職員	幼小交流会（コロナの影響で中止）
9月28日	幼小	全教職員	1年生公開授業→指導主事からの指導講話
10月6日	幼小	教務主任、保育主任、担当者	接続期カリキュラムの検討
10月27日	幼小	全教職員	5歳児公開保育→大学教授からの講話
11月5日	幼小	全教職員 県内外の校園から参加希望者	公開研修会、公開授業、研究報告 →大学教授、指導主事からの指導講話
1月14日	幼小	教務主任、保育主任、 1年生担任、担当者	接続期カリキュラムの検討
1月28日	幼小	保育主任、5歳児担任、 1年生担任、担当者	接続期カリキュラムの検討
2月9日	幼小	全教職員	1年生の公開授業→研究協議会 →大学教授、指導主事からの指導講話
3月予定	幼小	教務主任、保育主任、 5歳児担任、1年生担任、担当者	接続期カリキュラムの検討・最終確認

(2) 加配教員の取組

◆保育への参画

年間を通して、幼稚園5歳児クラスを中心に保育に参画した。幼稚園教員とともに子どもの活動を支援したり、保育準備をしたりする中で幼児教育への理解を深めることができた。支援するだけでなく小学校の運動遊びを5歳児向けに実践し、小学校のことを話す機会も設けた。やりたい！という気持ちで溢れている子どもの姿やそれを支え、のびのびと育てようとする保育者の姿を見て自分自身の指導を見つめ直すきっかけになった。「教師が指示するばかりでなく、一緒に考え一緒に学ぼうとする」「がんばりを全力でほめる」小学校で子どもと関わる中でも、自然と意識するようになった。

◆週案作成や打合せへの参加について

幼稚園での週案作成や学年会議に参加し、一週間の主な活動の流れや目指す子どもの姿について協議した。子どもたちにどんな力を付けていくのかを幼稚園教員と共有した上で保育に臨むことにより、子どもの学びや成長を見る視点が明確となった。また、保育の中で見つけた子どもたちのよい姿や課題となる姿に関しても話し合い、接続期カリキュラム等に反映させることができた。

◆接続期カリキュラムの作成に向けて 【別添資料①②】

アプローチ・スタートカリキュラムの作成については、まず、幼稚園・小学校で大切にしたいことや共通する課題から瀬田北小学校区の子どもの目指す姿について話し合い、「心身の安心・安定」、「学びたい意欲を伸ばす（やりたい・もっと）」、「豊かな心を育む（つながる）」という三項目に焦点を当てて内容を考えた。話し合う中で幼稚園から小学校へとつながっている部分が共有でき、カリキュラムの編成に生かすことができた。

◆加配通信の発行

毎日の幼稚園勤務での気づきや学び、5歳児や1年生の活動の様子を幼小の教員に向けて定期的に発信した（右写真）。加配通信には、毎号、幼稚園教諭からのコメントを追記して掲載し、遊びの中の学びについて、言語化・可視化して伝えていくことができた。



3 実践事例

(1) 幼小の交流（5歳児と1年生）

9月の小学校公開授業：体育科「かけっこをしよう」を1年4組と5歳児にじ組で合同実施した。共通で取り組んでいたかけっこを教材に、小学校の広いグラウンドを一緒に走ることができた。スタートの姿勢を意識して少しでも早く走ろうとする一年生と、一年生の背中を追いかけて線に沿ってまっすぐ夢中でゴールを目指す5歳児の姿が見られた。



コロナ渦で交流活動を制限する1年間となったが、公開授業では相手を意識しながらそれぞれのめあてに向かって一生懸命に活動することができた。また、一緒に身体を動かすことを通して互いの存在を以前よりも身近に感じるようになったという感想をもつ子どもがいた。

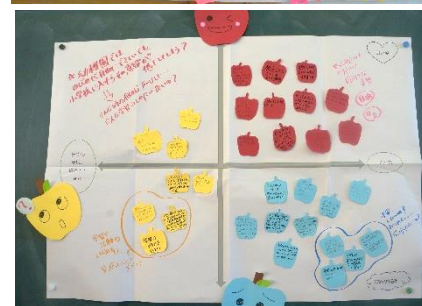
(2) 学習単元に幼小連携を取り入れた授業

1年生の生活科では、幼稚園児との交流を単元に取り入れた授業を実践した。単元「パワーアップ発表会をしよう」では、小学校での自分の成長や小学校生活の楽しさを5歳児クラスの子どもに発表会形式で伝えることを単元ゴールとして設定した。1年生にとっては、今の自分を見つめ、自信や成長を感じるきっかけとなった。発表（ビデオ）を見た5歳児の子どもは、入学への期待を膨らませている様子であった。



(3) 幼稚園教員と小学校教員の交流会

互いの保育や日頃の学習の様子を話し合った後、子どもたちの姿からよさや課題を整理した。お互いに「こんな時はどうしてる？」といった疑問や、保育を参観した小学校教員から「幼稚園の先生のここを真似したい」「ここがすごい」というような意見が出て互いの教育の理解が



深まった。幼稚園と小学校で子どもたちに共通するよさや課題を共有できたことはとても大きな収穫であり、よさを生かし、課題の改善に向けた授業改善・保育改善の方向性を揃えることができた。

(4) 小学校教員による幼稚園の子どもたちへの保育（授業）実践

加配教員や小学校教員が5歳児クラスを対象に、保育（授業）実践を行った。右写真は、体育科のボール投げや、かけっこに関連させた遊びを実践した様子である。ボール投げ遊びでは、「ポケモン GET だぜ！ボール投げマスターをめざそう」というめあてに沿って、夢中になってポケモンの的を狙ってボールを投げる姿が見られた。



実践した小学校教諭は、幼児教育での遊びが小学校の体育科の学習につながっていることを実感することができた。他教科との関連した遊びを含め、今後も定期的にこのような機会を設けたい。

4 研究1年目の成果と課題

◆成果

幼小の教員間で互いの保育・授業の参観や、目指す子どもの姿を協議することを通して、互いの教育の違いや指導の在り方について学び合うことができた。互いの教育や保育について知り、子どもの成長の過程を理解し合うことは小学校入学への段差を緩やかにする近道であると感じた。



また、今年度最も大きい成果は、幼稚園と小学校の教員が一緒に一つのカリキュラムを作成できたことである。同じ目的を持ち、同じ方向を向いて未来の子どもの姿を想像しながら話し合いを積み重ねることができた。特に、作成にあたっては、互いのビジョンを共有し接続できるように検討した。また、入学時の具体的な活動について、すり合わせる機会をもったことで、互いの接続期の過ごし方をより意識することができた。

◆課題

瀬田北小学校区の子どもの実態から「自立心」に焦点化したカリキュラムとなるよう作成してきたが、「自立心」の視点からの検証や見直しが十分にできていない。スタートカリキュラムの内容や入学時の活動を共有する中で、幼稚園と小学校で共通している指導の在り方は分かったが、子どもの学びがどのようにつながっているかを具体的に見出すことはできていなかった。今後は、「自立心」に焦点化したカリキュラムの検証・改善と同時に、実際の子どもの姿や教育の中でのつながりやつなげていく必要のあることを導き、子どもたちが学び続けたいと思える指導方法の工夫等を幼・小で考えていきたい。

5 今後に向けて

幼稚園では今年度、アプローチカリキュラムの作成とともに、教育課程をより身近に捉え保育に生かし発達に応じた教育が行えるよう、園内研修会を実施してきた。小学校ではスタートカリキュラムの作成を通じて、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を踏まえた幼児教育とのつながりを考えることができた。来年度は作成したカリキュラムを実践しながら検証・改善していきたい。また、接続期だけでなく幼稚園入園時から小学校卒業までの子どもたちの学びや育ちを長いスパンで見守り支えるカリキュラムの検討や、校種間の垣根を越えた教員間の学び合いを続けていきたい。



瀬田北幼稚園、瀬田北小学校 接続期カリキュラム

		アプローチカリキュラム			幼児期の終わりに育ってほしい姿(10の姿)	スタートカリキュラム	
時期	【幼稚園 10月後半～12月】 幼稚園での生活が充実してくる時期 小学校への憧れの気持ちを持ち始める時期	【幼稚園 1月～2月初旬】 自分の力が発揮できる時期 小学校生活、入学に期待する時期	【幼稚園 2月中旬～3月】 修了に向け自信をもって生活する時期 小学校生活をイメージし、自分にもできる、やりたいと感じる時期	【小学校 4月 5月】 新しい生活に期待と不安をもちながら過ごす時期 幼稚園での経験や学びを小学校で生かそうとする時期		【小学校 6月】 小学校生活の流れを知って少しずつ慣れてくる時期	
ねらい	○ 自分なりの目的をもって挑戦し、力一杯取り組む満足感を味わう。	○ 自らの力を発揮し、やり遂げた達成感を味わう。 ○ 成長した自分を実感し、自信や入学への期待をもつ。			○ 小学校に入学した喜びを感じ、安心感をもって新しい先生や友だちと楽しく学校生活を送ろうとしている。	○ 小学校生活の流れを知り、自分なりに見通しをもって過ごそうとしている。	
内容	心身の安心・安定	・1日の過ごし方や生活の場の整え方が分かり、心地よく過ごす。 ・毎日の生活を振り返り、経験したことや簡単な見通しから明日への期待をもつ。 ・園内外でのマナーやルールを意識し、安全に気をつけて行動する。 ・自分の体や食生活に関心をもち、健康な生活を送ろうとする。 ・進んで体を動かし、心地よさや満足感を味わう。	・自分の身の回りを進んで整え、心地よく過ごす。 ・クラスで1日を振り返り、自分なりの役割を感じたり、翌日の準備をしたりする。 ・登降園時の交通ルールを意識し、安全に気をつけて行動する。 ・自分の体調や、食生活に関心をもち、病気やけがの予防について意識しながら過ごす。 ・寒い中でも、進んで体を動かし気候の変化に関心をもち。	・修了までの生活を自分達で見通し、生活の場を整えたり、クラスの一員としての役割を果たしたりする。 ・安全に登降園しよう意識し、身の回りのことが自分で考えてできることに自信をもち、小学校生活を楽しみにする。 ・自分の健康状態がわかり、健康に過ごすための生活の仕方を知ろうとする。 ・進んで体を動かし、心地よさを味わったり友だちと一緒にルールのある遊びを楽しんだりする。	① 健康な心と体 ② 自立心 ③ 協同性 ④ 道徳性・規範意識の芽生え ⑤ 豊かな感性と表現 ⑥ 自然との関わり・生命尊重 ⑦ 数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚 ⑧ 思考力の芽生え ⑨ 言葉による伝え合い ⑩ 社会生活との関わり	・安全に気を付けながら、上級生や友だちと一緒に登下校することに慣れる。 ・もち物の準備・片付けの仕方を知り、幼稚園での経験を生かして自分で管理しようとする。 ・自分の健康状態が分かり、体調を伝えようとする。 ・献立や食材に興味をもち、給食を楽しんで食べようとする。 ・遊具の使い方を知り、約束を守りながら楽しく運動する。 ・運動場や体育館の場に慣れ、新しい運動に楽しんで挑戦しようとする。 ・給食の配膳の仕方や掃除の仕方を知り、友だちと協力して実践しようとする。 ・学校生活の約束や小学校の一日の流れを知り、クラスの一員としてみんなと気持ちよく過ごそうとする。 ・友だちとの関係の中で困ったことがあれば自分から気持ちを伝えようとする。それが難しい時には、先生に気づいてもらったり代弁してもらったりしながら自分の気持ちを伝えることの大切さを感じている。	・どこに何を片付けるのか知り、自らの周りの整理整頓をする。 ・自分の健康状態が分かり、健康を保つためにどうすれば良いか考えて行動しようとする。 ・時間を意識しながら見通しをもって学習したり活動したりする。 ・当番活動や学習活動を通して学級集団への所属意識を高め、クラスの友だちと協力することの楽しさを感じる。 ・困ったことがあれば自分の気持ちを伝えたり相手の立場を考えたりしながら自分たちで解決しようとする。
	学びたい意欲を伸ばす(やりたい・もっと)	・遊びの中で様々なものにふれ、それぞれの様子や特性などに関心をもち。 ・自分なりの目的やイメージをもち、試行錯誤しながら繰り返し取り組もうとする。 ・やりたいことの実現にむけて思いや考えを出し合ったり行動したりする。 ・やり遂げたことや自分の頑張りを認めてもらったことで自らの成長を感じる。	・文字や数字、図形などに興味をもち、取り入れ、遊びに生かそうとする。 ・遊びの中で、自分の考えを伝えたり実現させたりするために試行錯誤し、やり遂げようとする。 ・友だちから認められたり、自分のよさが生かされたりすることに喜びを感じ、自信をもって生活する。	・想像をふくらませて作品を作ったり絵を描いたりすることを楽しむ。 ・身近な自然や生き物を見つけ、興味をもって自ら調べたり観察したりする。 ・ひらがなに興味をもって読んだり、書いたりしようとする。 ・10までの数の正しい書き方や読み方を知り、数のまとまりについて知ろうとしている。 ・幼稚園で遊んだり学んだりしたことをもとにして、自分なりに考えたり試行錯誤を繰り返したりしながら活動に取り組もうとする。 ・互いの良さを認め合える安心できる集団生活の中で、自分の気持ちをすすんで表そうとする。		・読む・書く活動に集中して取り組めるようになる。 ・学習と休み時間の区別をつけて過ごせるようになる。 ・一人でじっくり考えたり取り組んだりする時間を大切にしながらペアやグループでの活動に慣れる。	
	豊かな心をはぐくむ(つながる)	・自然や地域社会とのふれあいを通して、思いを寄せたり遊びに取り入れれたりすることを楽しむ。 ・感じたことや経験したことなど、自分の思いを言葉にして伝える。 ・友達と思いを出し合い、聞こうとしたり、よさや違いに気づき考え合ったりする。	・冬から春への季節の変化に気付く、自然現象への関心をもち、遊びに取り入れる。 ・お話や絵本などに親しみイメージを膨らませたり感じたことを様々な方法で表現しようしたりする。 ・クラスの友だちと共通の目的をもち、考えを出し合いながら一緒に取り組もうとする。	・幼稚園の生活を振り返り、成長したことを実感し、修了や進学に向けて期待をもって過ごす。 ・幼稚園で共に過ごした友だちや3、4歳児、地域の方に思いを寄せ、気持ちを表そうとする。 ・クラスの友だちと共通の目的に向けて取り組み、実現できた喜びや満足感を味わう。		・お話や絵本に親しみ、先生や友だちと言葉でイメージを共有しようとしている。 ・学習活動の中で自分が感じたことや気づいたことを相手に伝えるように話したり、話している人の方を見て話を聞いたりする。 ・経験したことや好きなことなど自分の思いを言葉で相手に伝えたり、友だちに温かい言葉で話したり相談したりするなど優しく関わろうとしている。	・人前での発表の仕方や聞き方を知る。「声のものさし」を意識して過ごす。 ・6年生や他の学年の子どもたち、地域の方ともすすんで関わろうとする。 ・クラスの友だちと共通の目的に向けて取り組み、自分の役割を意識したり友だちのことを考えたりしながら達成できるように取り組む。

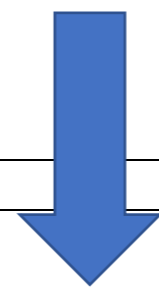
瀬田北小学校 スタートカリキュラム 週案 (第1週)

週間目標	1年生になったことに喜びを感じ、意欲的に活動に取り組むことができる。				
実施日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
月日	4月11日(月)	4月12日(火)	4月13日(水)	4月14日(木)	4月15日(金)
登校後	好きな遊びをして過ごす				
朝の会	あいさつ・健康観察の仕方				
ほかほかタイム	なかよくなるう(歌・手遊び・ゲーム・体操・読み聞かせなど)				
1	学活	学活	国語	国語	算数
	学 荷物の片付け方を考えよう	学 トイレや手洗い場の使い方を考えよう	国 教科書を開いてどんな勉強をするのか知ろう	国 いすの座り方・話の聞き方・返事の仕方を考えよう 【いいてんき】 絵を見て見つけたことや想像したことを話そう	算 【数あそび】 算数セットに入っているおはじきやブロックを使って、数遊びをしよう
2	学活	学活	学活	生活	生活
	学 引き出しの使い方、提出物の出し方を考えよう	生 傘立てや靴箱の使い方を考えよう 生 安全な登下校について考えよう	学 個人写真を撮る。 学 待っている間は本を読んだり、自由帳を書いたりして待つ。	生 【がっこうだいすき①】 校庭にあるものを見つけよう	生 【がっこうだいすき②】 学校の中をみんなで歩こう
3	生活	生活	学活	生活	生活
	生 帰りの用意の仕方と並び方を考えよう	生 休み時間の過ごし方や教室の使い方を考えよう 生 帰りの用意をしよう	学 【1年生になって】瀬田北小学校のやくそくを知ろう 生 帰りの用意をしよう	生 校庭で見つけたものを発表しよう 生 帰りの用意をしよう	生 給食当番の仕方や配膳の方法、上手な食べ方を考えよう
4	生 帰りの会 ほかほか一言タイム	生 帰りの会 ほかほか一言タイム	生 帰りの会 ほかほか一言タイム	生 帰りの会 ほかほか一言タイム	生 😊 11:45～ 準備 →はじめての給食
	生 帰りの会 ほかほか一言タイム	生 帰りの会 ほかほか一言タイム	生 帰りの会 ほかほか一言タイム	生 帰りの会 ほかほか一言タイム	生 帰りの会 ほかほか一言タイム
5	生活	生活	生活	生活	生活
	生 学校の中で見つけたものを発表しよう	生 帰りの会 ほかほか一言タイム	生 帰りの会 ほかほか一言タイム	生 帰りの会 ほかほか一言タイム	生 帰りの会 ほかほか一言タイム
※教科書配布 11:55 下校		11:55 完全下校		11:55 完全下校	

写真やイラストで分かりやすい掲示を♪

やくそくやきまりを知って、いちねんせいのプロをめざそう♪

時間があれば、帰りに読み聞かせタイム♪



幼小で大切にしたいことや共通する課題から瀬田北小学校区の子どもの目指す姿について話し合い、以下の三項目に焦点を当てて週計画を考えた。

心身の安心・安定を育む

- ・小学校の生活リズムに少しずつ慣れるため、朝の時間・活動を工夫する。
- ・安全に気をつけながら登下校できるよう、学年下校で指導する。
- ・トイレの使い方や安全な遊具の使い方を子どもと一緒に考える。
- ・いすに座って良い姿勢を意識するように声をかける。

豊かな心を育む

- ・小学校に入学したことを喜び、教師や友だちと親しみをもって関わろうとするために、仲間づくりの遊びを取り入れる。
- ・登下校時など6年生を中心に、他の学年の児童と関わる機会を設定する。
- ・支援員の先生や他のクラスの先生とも関わろうとする。

学びに向かう姿勢を育む

- ・学校生活の一日の流れが分かるように視覚支援を行う。
- ・話す人の方を見て話を聞いたり、友だちに自分の思いを話そうとしたりできるような環境づくりを行う。

ほかほかタイム (朝の会終了後、15分程度)

朝の会の前に手遊びやゲームをしたり、読み聞かせをしたりして心と身体がほぐれるような時間にします。リラックスして、安心して一日のスタートを切れるようにします。

いちねんせいのプロをめざそう

小学校のルールや学校生活の約束などをスタンプラリー形式にして皆で学んでいく。ゴールまで行くとお宝をもらえるような仕組みにし、楽しく学びを進められるようにします。

みんなでぐんぐんタイム

小学校から始まる各教科の学習を進めていく時間。できたことを取り上げ、ほめることで自信をつけていけるようにします。えんぴつの持ち方や正しい姿勢は常に意識できるように教室に掲示しておく。

☆今日は〇〇できるようになったね!
☆さすが幼稚園で年長・だったみんな!
などなど・・・子どもたちの自信につながる声かけを!!

4・5月の歌・絵本

- ♪1年生マーチ
- ♪ありがとうの花
- ・しょうがっこうへいこう
- ・いちねんせいのおいちにち

研究主題：自ら心を動かし主体的に行動する子どもの育成

～自分の思いや考えを伝え合い学び合う子どもをめざして～

1 主題設定の理由

本校・園が属する甲西中学校区では、以前から自分の思いをうまく言葉で伝えることが苦手という子どもたちの実態があり、「子どもたち一人ひとりが安心できる集団の中で自分の考えや思いを伝え合う力をつけていくこと」を校区のめあてとしてきた。

今年度からは、中学校区のコミュニティスクールがスタートし、連携をさらに進めていく。そんな中、本研究において、こども園では「まずは心の土台を育み、安心して自分の思いを表現できること、自分の思いを相手に伝え合いながら試行錯誤を積み重ね、達成感を感じ取ること」、小学校では「自分の思いや考えを交流し合い学びを深めていくこと」をポイントに研究を進めることとした。

2 幼児教育と小学校教育をつなぐ取組や接続期カリキュラムに関する取組など

(1)実施した研修会等

実施日	対象	内容等
4月13日	こ小管理職、担当者	・顔合わせ、事業確認 ・加配教員のこども園での勤務に関する打合せ
5月17日	こ小管理職、担当者	・合同研究テーマ話合い、実施計画作成
5月31日	こ小管理職、担当者	・県教委指導主事からの指導講話 ・学びに向かう力推進事業の概要説明
6月11日	こ小管理職、5歳児担任、1年生担任、担当者	・保幼小連絡会（1年生授業公開、情報交流）
6月24日	こ小管理職、5歳児担任、1年生担任、担当者	・接続期カリキュラム作成について 情報共有、作成計画
7月15日	こ小管理職、担当者	・研究の進捗状況の確認 ・合同研修会の計画
8月18日	校区内園教員（希望者）、小学校全教員	・合同研修会（県教委指導主事の訪問、接続期カリキュラム検討、1年生指導案検討）
10月19日	こ小管理職、担当者	・研究の進捗状況の確認 ・公開研修会の計画
10月29日	こ小管理職、5歳児担任、1年生担任、担当者	・接続期カリキュラム検討 ・公開授業指導案検討
11月19日	校区内園教員（希望者） 小学校全教員	・公開研修会（1年生公開授業、県指導主事の訪問、大学准教授の講演）
2月9日	校区内園教員（希望者） 小学校全教員	・合同研修会（大学准教授の講話） ⇒新型コロナウイルス感染症の拡大のため中止
2月17日	こ小管理職、5歳児担任、1年生担任、担当者	・保幼小連絡会（新1年生についての情報交流）
2月21日	こ小管理職、5歳児担任、1年生担任、担当者	・接続期カリキュラム検討
3月 予定	こ小管理職、担当者	・研究の中間まとめ、次年度に向けて

(2) 加配教員の取組

◆保育への参画

平松こども園に週 15 時間勤務し、5 歳児クラスを中心に保育に参画した。保育参画にあたっては、事前に 5 歳児クラス担任と週案と日案を共有し、その日の活動のねらいと「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10 の姿）」を確認した。子どもたちの活動（遊び）を「10 の姿」を通して見ることで、小学校の学びへのつながりを意識することができた。また、子どもたちの思いにそっと寄り添い、言語化していく保育者の姿勢から「子どもの行動には必ず何らかの思いがある」ということを改めて認識できた。「子どもの思いに寄り添い、ともに言語化していくこと」は、自己表現の第一歩であり、伝え合い学び合う基礎となるものにとらえ、小学校でも根気よく続けていきたい。

◆園内研究、校・園の学年会への参加

こども園では、早朝・延長保育を行っており、全職員が揃って研修する時間をもつことが難しい。そのため、園内研究会では事前にビデオ撮影した保育の様子を見ながら、環境構成や支援などについて研究協議を行った。この園内研究会に参加したことで、ねらいにせまるための保育者のこまやかな環境構成、子どもの見取りや具体的な支援について学んだ。

また、園の学年会に参加し、ともに活動計画を立てたり園児への具体的な支援について検討したりすることを通して、幼児が遊びから何を学ぶか、遊びから学んでいくには環境をどうしたらよいかを考えることができた。さらに、小学校の学年会（指導案検討会等）に参加し、園での環境構成や具体的な支援について共有することで、単元・授業の計画や学習環境の準備の際の参考となった。

◆加配通信「きらり」の作成と配付

こども園の保育に参画して子どもとともに活動し、見取った姿や感じたことを加配通信「きらり」（右写真）で、園と小学校の全職員に配付した。通信では、こども園での子どもたちの具体的な活動の姿やつぶやき、それに対する保育者の支援を「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10 の姿）」を踏まえて整理することで、小学校の学びへのつながりを意識できるようにした。また、1 年生の学習の様子についても通信を通して、こども園の職員に定期的に伝えるようにした。

小学校の職員からは、通信を活用することでこども園の環境構成を参考にしたり、子どもたちの発達を理解したりすることができたという感想があげられた。加配通信を通して、これまで行っていた連絡会での情報交流や小学校教員の保育体験だけでは十分ではなかった、子どもたちの気付きや成長の様子、こども園と小学校の互いの取組について理解を深めることができたと考える。

◆接続期カリキュラムの作成にむけて 【別添資料①】

接続期カリキュラムについては、こども園の 5 歳児クラス担任、研究主任、小学校の 1 年生担任、加配教員が中心になり作成を進めた。本市では、人権教育と特別支援教育を根幹にしてすべての教育活動を進めている。そこで、「じぶんだいすき ともだちだいすき」をキーワードに、「安心して自分が出せる環境」「互いを認め、受け入れる仲間」「一人ひとりを大切にする関わり」をポイントに作成を進めた。作成したカリキュラムについては、実践、検証・改善を進め、滑らかな接続により、子どもたちが園で培った力を発揮しながら小学校生活のスタートが切れるようにしたい。



3 実践事例

(1) 幼児教育と小学校教育の相互理解

◆「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10 の姿）」の活用

こども園や小学校での子どもたちの活動の様子を「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10 の姿）」を踏まえて整理し、加配通信で伝え情報を共有することで、学びにつながる姿をお互いに意識

できるようにした。園だけでなく小学校でも「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」をポイントにした授業づくりを目指して取り組んでいる。

◆合同研修会・接続期カリキュラム検討

夏季休業中に校区内の園と本校の教職員対象に合同研修会を実施した。研修会を通して、接続期カリキュラムや生活科における幼小接続について、また子どもたちが主体的に取り組む保育・授業改善について理解を深めた。接続期カリキュラム検討にあたっては、目指す子どもの姿について語り合うことができた。

(2) 研究テーマにせまる保育・授業づくり

◆遊びの充実と工夫

こども園では、安心できる環境の中で遊び込めるように、十分な時間や遊びの場を確保した。また、広い廊下やテラスを活用したり身近な動植物と触れ合ったりして、「やってみたい」と心が動くよう魅力的な環境づくりに取り組んだ。そして、発達段階に応じて試行錯誤する体験を積み重ね、成功体験からあきらめない気持ちを育ててきた。



◆「伝え合う力」を視点として

活動の中で子どもたちは自分の思いを伝えたい場面がある。それがうまくいかないときに園では保育者がその子の思いを言語化して一緒に伝える経験を重ねてきた。自分たちでグループ名を決めたり、リレーの順番を決めたりするときその力が発揮されて、次第に自分の思いを伝えたり友だちの思いを聞いたりできるようになってきた。また、小学校では、活動に浸りきり試行錯誤を繰り返す中で、自分の思いや考えを思わず伝えたい場面を設定することで、伝え合う力が育ってきている。

◆保幼小の子どもたちの交流

これまでも1年生と5歳児の交流は行ってきたが、単発的な取組であった。今年度は、1年生の生活科の学習の一環として継続的な交流を行い、活動のねらいや子どもたちの様子について事前に十分な情報共有の場をもった。小学校からの一方的な招待にとどまらず、園からの働きかけもあり、双方向の交流になりつつある。



4 研究1年目の成果と課題

◆成果

- ・保育に参画し子どもと活動することにより、幼児教育について理解を深めることができた。
- ・子どもたちの姿を「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を踏まえて整理することで、双方の教職員が幼児教育と小学校教育の接続を意識するようになった。
- ・5歳児担任と1年生担任を中心として接続期カリキュラムを作成しながら、互いの教育や子どもの育ち、目指す子どもの姿について具体的に話し合うことができた。

◆課題

- ・幼児期の遊びの中にある学びや、遊びから学びへのつながりについての理解や、「接続期カリキュラム」の取組についての周知が全職員について十分ではない。
- ・小学校と平松こども園との連携は深まったが、校区内の他の幼児教育施設（保育園、幼稚園）とも連携し、接続についての共通した取組を行う必要がある。

5 今後に向けて

今年度は主に対象園との連携を進めてきたが、今後は校区内の園との保育・授業参観、合同研修会をもち、子どもの思いや教師の思い、目指す子どもの姿を共有していきたい。また、今年度作成した接続期カリキュラムを校園の教職員で共有しながら実践し、検証・改善するとともに、学校全体で幼児期からの学びを生かし主体的な学びをめざした授業改善を進めていきたい。

平松こども園・三雲小学校 接続期カリキュラム

		アプローチカリキュラム		スタートカリキュラム
		5歳児 (10~12月)	5歳児 (1~3月)	小学校1年生 (4~5月)
ねらい		・共通の目的に向かって友だちと協力して進めていく楽しさを味わう。	・ひとつの目的に向かって協力して最後までやり遂げようとする。	・こども園での経験や学びを生かしながら、学習を積み重ねていく。 ・めあてをもって、学習に取り組もうとする。 ・自分の思いや考えをもったり、友だちと交流したりしながら学習しようとする。
生活する力の 幼児期の 終わりに かわり まです に育つ てほ しい 姿 (10の 姿)	ア 健康な心と体	・一日の流れに見通しをもって行動すると共に、生活習慣や生活の中での決まりを大切にしようとする。 ・色々な食物の働きを知り、何でも食べようとする。 ・色々な運動用具を安全に使い、全身を動かして意欲的に遊ぶ。(固定遊具・技巧台)	・体や病気について関心を持ち、健康な生活に必要な習慣を身に付ける。 ・一定の時間内で食べることを意識しながら、友達と一緒に楽しく食べる。 ・自分の目標をもってさまざまな運動に挑戦する。(縄跳び・固定遊具)	・こども園での経験を生かしながら、小学校の生活の流れや場所に慣れ、安全に気をつけて学校生活を楽しむ。 ・新しい環境の中で、様々な動きや遊具に親しみ、楽しく運動する。
	イ 自立心			・自分でできることは自分でしようとしたり、初めての事にも粘り強く取り組んだりする。 ・時間を意識しながら、学習したり遊んだりする。(学習の準備、休み時間、給食、掃除など)
かかわる力の 育つて ほしい 姿	ウ 協同性	・友だちと遊ぶ中で仲間意識が芽生え、役割を分担したり、力を合わせたりして進めていく。(当番活動・お店屋さんごっこ・グループ制作)	・友だちと思いを伝え合い、協力しながら遊びを進めていく喜びを味わう。(劇あそび・ごっこあそび)	・自分の力を発揮しながら、友だちと思いを伝え合ったり協力したりして、生活したり学習したりする。
	エ 道徳性・規範意識の芽生え	・異年齢児との関わりを深め、思いやりやいたわりの気持ちをもつ。(散歩・運動会ごっこ)	・友だちとの関わりの中で、良いこと悪いことがあることが分かり判断して行動する。 ・友だちとの関係が深まり、相手のよさを受け入れようとする。 ・小学校生活に期待をもつ。(散歩・5・5交流)	・困ったことやトラブルがあったときには、自分なりの考えをもち、どうすればよいかを考えて行動する。
学ぶ力の 姿	オ 社会生活との関わり	・生活の中で使う言葉の意味が分かり、取り入れながら考えたことや感じたことを相手に話す。 ・友だちとやり取りを十分にし、思いを伝え合う。(お店屋さんごっこ・グループ制作)	・みんなで共通の話題について話し合い、自分の考えを相手にわかるように話す。 ・人の話を注意して聞き、友達と伝え合うことを楽しむ。	・当番活動をしたり遊んだりするなかで、友だちのよさや自分が周囲から認められる心地よさを感じる。 ・活動の中でできごとや思ったこと、考えたことなどを言葉で伝える。 ・話の聞き方や話し方を知り、自分の思いや考えを伝える。 (【三雲小学びのスタンダード】 「話し方・聞き方名人」「声のものさし」)
	カ 言葉による伝え合い	【伝え合う力】 ・友だちに思いを伝えたり、思いを聞いたりしよう。	【伝え合う力】 ・互いに思いを出し合いながら、伝え合う喜びを感じよう。	【伝え合う力】 ・新たな友だち関係の中で自分の思いや考えを伝えたり友だちの話を聞いたりしよう。
予 想 さ れ る 活 動	キ 自然との関わり・生命尊重	・身近な自然現象に関心を持ち、それらを取り入れて遊ぶ。(散歩・木の葉や空の変化・雪遊び・氷つくり)	・身近にある事物の動きや仕組みに興味や関心を持ち、考えたり、試したり工夫したりしようとする。	・自然に興味をもち、自然との関わりを楽しむ。
	ク 数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚	・身近にある標識や文字、記号などに関心をもつ。(お店屋さんごっこ・散歩)	・生活の中で文字や数への関心を高め、取り入れて遊ぶ。(郵便ごっこ・正月あそび・当番活動)	・文字や言葉に関心を持ち、進んで読んだり書いたりする。 ・数に関心を持ち、進んで数を数えたり数字を使って表したりする。
大 切 に し た い こ と	ケ 思考力の芽生え	・経験したことや感じたこと、想像したことを音楽や造形などで表現することを楽しむ。(作品展)	・友だちと一緒に、感じたことや想像したことを音楽、言葉、からだなどで表現することを楽しむ。(発表会・合奏・劇あそび)	・こども園での経験を生かして、全身を使って学習活動に取り組み、めあてに向かって試行錯誤しようとする。 ・言葉、歌、楽器、造形など五感を働かせて、自分なりに表現することを楽しむ。
	コ 豊かな感性と表現			
予 想 さ れ る 活 動	<p>戸外あそび</p> <ul style="list-style-type: none"> 鬼ごっこ(けいどろ、色鬼、かわり鬼など)・運動あそび 固定遊具(雲梯、鉄棒、滑り台、ジャンブルジム、ブランコ、登り棒) ボール遊び(ドッジボール、サッカー) 縄跳び、竹馬、フラフープ ごっこあそび・虫探し 砂あそび・水あそび・泡あそび・泥あそび・色水あそび・触感あそび 雪あそび・氷あそび・凧あげ <p>飼育・栽培</p> <ul style="list-style-type: none"> 野菜や花を育てる(アサガオ・夏野菜・サツマイモ) 小動物や虫を育てる クッキング・お茶パーティ <p>さんぽ</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節を感じる 交通ルールを知る 学校へ行く 地域の人と関わる 自然物を見つめる <p>歌・楽器</p> <ul style="list-style-type: none"> 歌をうたう 楽器あそび 合奏 <p>制作あそび</p> <ul style="list-style-type: none"> はさみ、のりを使う 絵具あそび、お絵描き 空き箱制作 粘土あそび グループ制作(作品展) <p>生活</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする 掃除をする(雑巾、ほうき) 朝の会(一日のスケジュール) 帰りの会(振り返り) 正しい食事マナー、箸の持ち方 身の回りのことを自分でする 当番活動 <p>行事</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動会 5・5交流 発表会 卒園式 元気でね、元気だったね集會 	<p>一年間を通して</p> <p>生活</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする 掃除をする(雑巾、ほうき) 朝の会(一日のスケジュール) 帰りの会(振り返り) 正しい食事マナー、箸の持ち方 身の回りのことを自分でする 当番活動 <p>行事</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動会 5・5交流 発表会 卒園式 元気でね、元気だったね集會 	<p>4月</p> <p>行事</p> <ul style="list-style-type: none"> 入学式 児童会 地区別児童会 <p>生活</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活「がっこうだいすきあいえお」 生活「いっぞ!がっこうたんけんたい」 <p>特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な学校生活 楽しい学校生活(給食・そうじ・図書室) <p>国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いいてんき ・おはなしたのしいな ・あつまってはなそう ・えんぴつとなかよし ・どうぞよろしく ・うたにあわせてあいえお ・こえにだしてよもう <p>音楽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うたっておどって ・なかよくならう <p>図画工作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すきなかたちやいろいろなに ・かきたいものなかに <p>算数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかよし ・10までのかず <p>道徳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たのしいがっこう ・うまれたのいのち <p>算数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんばんめ ・いくつといくつ <p>国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんていおうかな ・こんなものみつけたよ ・ききたいな、ともだちのはなし ・たのしいな、ことばあそび ・ぶんをつくらう <p>体育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たのしくあそぼう ・ゆうぐあそび <p>算数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんばんめ ・いくつといくつ <p>国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちよきちよきかざり ・すなやつちとなかよし 	
大 切 に し た い こ と	・保健的で安全な環境を作り、快適に過ごせるようにする。 ・一人ひとりが安心して自分の思いを出せるようにする。	・一人ひとりの気持ちや考えを受容し、自己発揮して活動できるようにする。 ・身に付けた生活習慣を確認しながら就学への期待をもって生活できるようにする。	・一人ひとりの生活背景を踏まえ、保護者としてしっかりとつながりながら、安心して学校生活が送れるようにする。	
キ ー ワ ー ド	<p>安心して自分が出せる環境 互いを認め、受け入れる仲間 一人ひとりを大切に作る関わり</p> <p>じぶんだいすき ともだちだいすき</p>			